ONKYO

INTEC
COMPONENT WORLD

DVDプレーヤー
DV-S155X
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

はじめに	4
接続する	16
INTEC155との接続	21
DVDの基本設定	25
DVDを再生する（基本の再生）	28
CDやビデオCDを再生する（基本の再生）	36
MP3、WMA、JPEGを再生する（基本の再生）	42
DVDのいろいろな再生	47
CDやビデオCDのいろいろな再生	54
MP3、WMA、JPEGのいろいろな再生	61
応用設定をする	65
その他	79

目次

使ってみよう

はじめに

主な特長 4
オーディオ機器の正しい使いかた 5
付属品を確認する 10
リモコンを準備する 11
各部の名称と主な働き 12

接続する

映像/音声ケーブルと
端子の種類について 16
テレビを接続する 17
D入力端子がある場合 17
Sビデオ端子がある場合 18
D入力端子もSビデオ端子も
ない場合 18
アンプと接続する 19
オンキヨー製PR-155Xなどの
ドルビーデジタルやDTSに
対応しているアンプと接続する 19
オンキヨー製R-801Aなどの
ドルビーデジタルやDTSに
対応していないアンプと接続する 20
テレビの音声入力と接続する 20
RIケーブルの接続 20
電源コードを接続する 24
電源を入れる 24

その他

DVD、CDなどの予備知識 79
用語集 84
困ったときは 86
主な仕様 89
修理について 90

基本設定をする

DVDの基本設定 25
接続したテレビの形状を選ぶ 26
画面表示に使う言語を選ぶ 26
デジタル出力の設定を選ぶ 26

ディスクを再生する(基本編)

DVDを再生する(基本の再生) 28
DVDを再生する 28
音声、字幕、アングルを切り換える 31
見たい/聞きたい場所を探す 33
音声方式と音声効果について 35
CDやビデオCDを再生する
(基本の再生) 36
CDやビデオCDを再生する 36
音声を切り換える 39
見たい/聞きたい場所を探す 40
MP3、WMA、JPEGを再生する
(基本の再生) 42
MP3、WMAを再生する 42
聞きたいトラックを選ぶ 44
JPEG CDを再生する 45

INTEC155シリーズについて

接続する 21
システム機能について 21
システム機能について
(CDダビング、CD
シンクロ録音機能を使う) 22
PR-155Xと組合わせる場合の
接続と設定 22
PR-155、PR-155SPまたはR-801A
と組合わせる場合の接続と設定 23

いろいろな機能

ディスクを再生する（応用編）

DVDのいろいろな再生 47
メモリー再生をする 47
順不同に再生をする
（ランダム再生）.......................... 49
くり返し再生をする
（リピート再生）.......................... 50
選んだ部分だけをくり返し再生
する（A-Bリピート再生）............ 51
ラストメモリー機能を使う 52
ズーム機能を使う 53
CDやビデオCDのいろいろな再生 ... 54
メモリー再生をする 54
順不同に再生をする
（ランダム再生）.......................... 56
くり返し再生をする
（リピート再生）.......................... 57
選んだ部分だけをくり返し再生
する（A-Bリピート再生）............ 58
ラストメモリー機能を使う 59
ズーム機能を使う 60
MP3、WMA、JPEGの
いろいろな再生 61
メモリー再生をする 61
順不同に再生をする
（ランダム再生）.......................... 62
くり返し再生をする
（リピート再生）.......................... 63
ディスクの情報を見る 64

各種設定

応用設定をする 65
画像設定 68
● インターレース画質設定............ 68
● プログレッシブ画質設定............ 70
オーディオ設定 72
● リニアPCM出力の設定をする 72
● ダイナミックレンジ
コントロールの設定をする 72
言語設定 73
● 画面表示に使う言語を選ぶ........ 73
● ディスクメニュー言語の
種類を選ぶ 73
● その他の言語を選んだとき 73
● 音声言語の種類を選ぶ 74
● 字幕言語の種類を選ぶ 74
● 言語コード表 75
表示設定 76
● 動作状態の画面表示を
設定する 76
● 画面表示色を
設定する 76
● 背景を設定する 76
● スクリーンセーバーを
設定する 76
機能設定 77
● 静止画を切り換える 77
● パレンタルロックを
設定する 77
● PBCの設定をする 78
● 自動電源オフの設定をする 78

主な特長

■ DVDビデオ、DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD、MP3 CD、WMA[*1]、JPEG（ジェイペグ）対応

■ 高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備

■ より滑らかな映像を再現するプログレッシブスキャン方式対応

■ 最大32ステップまで記憶するプログラム再生

■ 停止後に続き再生できるリジューム機能、前に見たディスクの続きを再生するラストメモリー機能

■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link（リンク）（Digital（デジタル） Rec（レック） Level（レベル） Adjustment（アジャストメント））機能

■ ドルビー[*2]デジタル/DTS[*3]/PCM デジタル音声出力端子

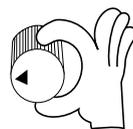
■ デジタル出力のフォーマットを別々に設定できる光デジタル出力端子2系統装備

[*1] Plays Windows Media™ Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

[*2] ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“Dolby”、“ドルビー”、“Pro Logic”およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

[*3] 本機は、デジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
“DTS”、“DTS Digital Out”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。**色は異なっても操作方法は同じです。**

音のエチケット
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスクの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るようなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- お子さまがディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

- リモコンに電池を入れる場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

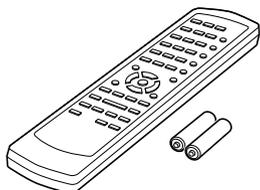
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

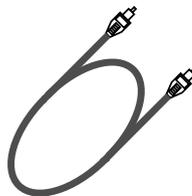
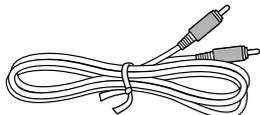
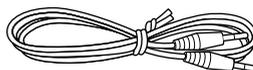
DV-S155X(05-09)(SN29343572) 9 04.1.16, 3:22 PM
ブラック

付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

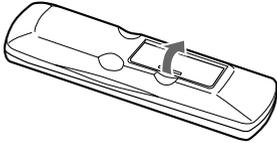
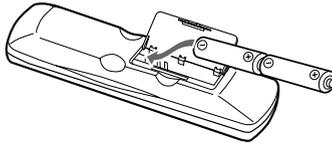
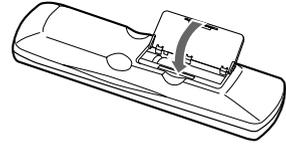
- リモコン（RC-522DV)(1)
- 乾電池（単3形)(2)

- Sビデオコード1.5m（1）
  Sビデオ映像を送るコードです。

- オーディオ用ピンコード（赤/白）0.6m（1）
  アナログ音声を送るコードです。

- オーディオ用光デジタルケーブル1.0m（1）
  デジタル音声を送るケーブルです。

- ビデオコード1.5m（1）
  映像を送るコードです。

- RIケーブル0.6m（1）
  RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
  （RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

- 取扱説明書（本書1）
- 保証書（1）
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

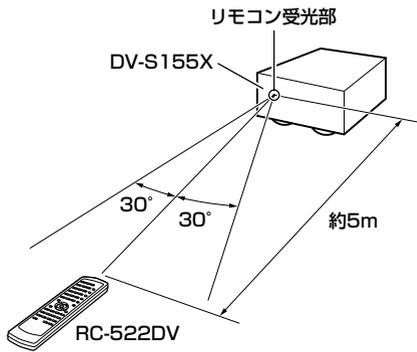
リモコンを準備する

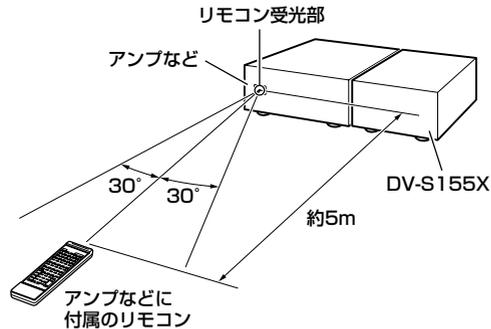
乾電池を入れる

① ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずす。

② 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を⊕プラスと⊖マイナスを間違えないように入れる。

③ カバーを閉める。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

接続したアンプなどに付属のリモコンで本機を操作するには

リモコンを接続したアンプなどのリモコン受光部に向けて、操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名称と主な働き

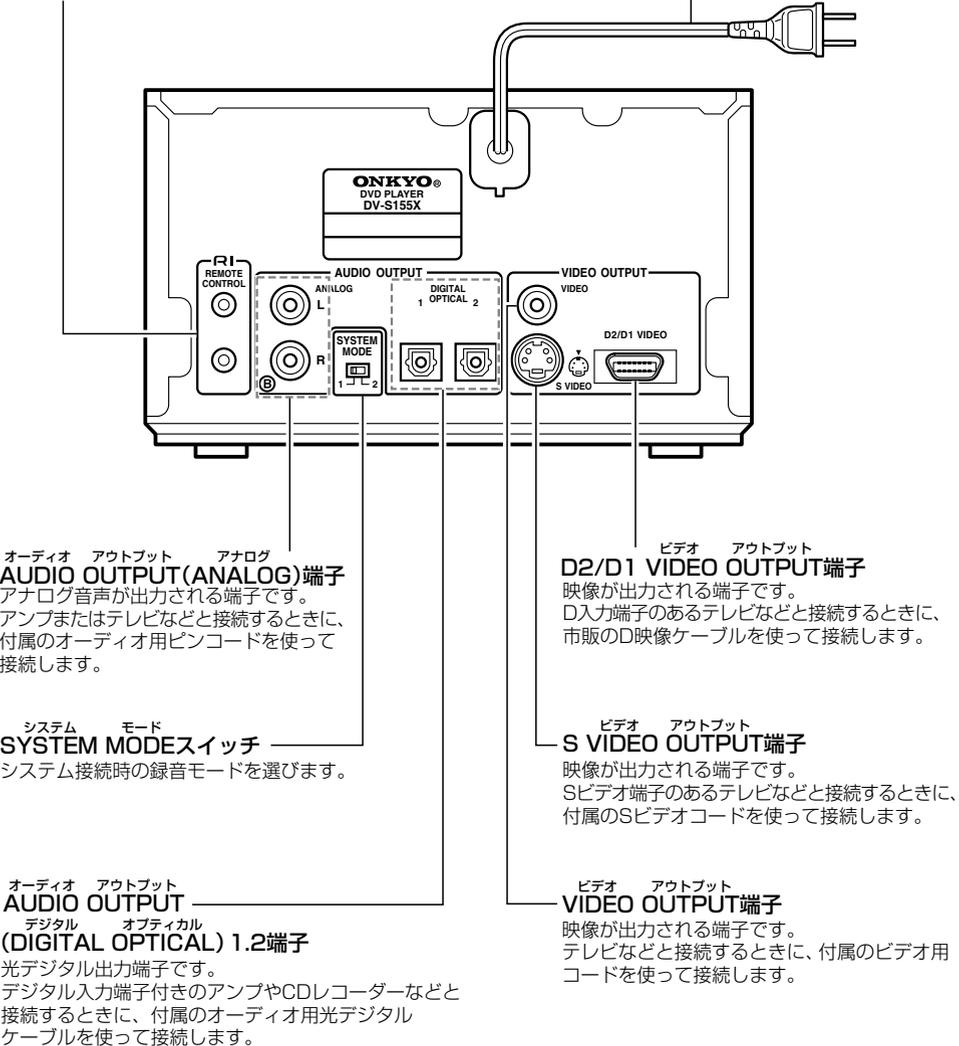
前面パネル

表示部

トラック チャプター
TRACK CHPインジケーター
ランダム
RANDOM インジケーター
タイトル
TITLEインジケーター
トータル
TOTAL インジケーター
ディスクインジケーター
ディスクトレイにセットされているディスクの種類を表示します。
リメイン
REMAINインジケーター
リピートインジケーター
ドルビーデジタル
DDインジケーター
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。
※AUDIO OUTPUT DIGITAL OPTICAL 1端子から出力されているときのみ点灯します。
A-Bリピートインジケーター
DVD
VCD
TITLE
TRACK CHP
RANDOM
TOTAL REMAIN
A-B
PROGRESSIVE
MP3
ディーティーエス
dtsインジケーター
DTS音声で収録されているDVDを再生しているときに点灯します。
DTS CDのときは点灯しません。
プログレッシブ
PROGRESSIVEインジケーター
映像出力でプログレッシブが選ばれているときに点灯します。
アングルインジケーター
MP3インジケーター
MP3で記録されたディスク再生時に点灯します。
多目的表示部
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。
プレイ ポーズ
►、❚❚インジケーター

後面パネル

RI 端子
RI 端子付きオンキヨー製カセットデッキなどと接続し、連動させるための端子です。
RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

電源コード

AUDIO OUTPUT(ANALOG)端子
アナログ音声が出力される端子です。
アンプまたはテレビなどと接続するときに、付属のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

SYSTEM MODEスイッチ
システム接続時の録音モードを選びます。

AUDIO OUTPUT (DIGITAL OPTICAL) 1.2端子
光デジタル出力端子です。
デジタル入力端子付きのアンプやCDレコーダーなどと接続するときに、付属のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

D2/D1 VIDEO OUTPUT端子
映像が出力される端子です。
D入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のD映像ケーブルを使って接続します。

S VIDEO OUTPUT端子
映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビなどと接続するときに、付属のSビデオコードを使って接続します。

VIDEO OUTPUT端子
映像が出力される端子です。
テレビなどと接続するときに、付属のビデオ用コードを使って接続します。

リモコン（RC-522DV）

STANDBY（スタンバイ）ボタン
電源をスタンバイ状態にします。

ON（オン）ボタン
電源をオンにします。

SEACH（サーチ）ボタン
DVD、ビデオCD、CDの再生したい場所を選択します。

LAST MEMORY（ラスト メモリー）ボタン
DVDとビデオCDを次に読み込んだときに、再生する場所を記憶させます。

数字ボタン
場面や音声、字幕、項目、暗証番号などを選びます。

TOP MENU（トップ メニュー）ボタン
DVDのトップメニュー画面を表示します。

▲/▼/◄/►/ENTER（エンター）ボタン
カーソルを上下左右に移動します。中央のボタンを押すと、選んだ内容を決定します。

RETURN（リターン）ボタン
設定画面を1つ前の項目に戻します。

AUDIO（オーディオ）ボタン
DVDの言語またはビデオCDの音声を切り換えます。

ANGLE（アングル）ボタン
DVDのアングルを切り換えます。

PROGRESSIVE（プログレッシブ）ボタン
映像出力をプログレッシブモードに切り換えます。
本機が停止中のときに操作してください。

■（ストップ）ボタン	：再生を停止します。
►（プレイ）ボタン	：再生を始めます。
❚❚（ポーズ）ボタン	：再生を一時停止します。
◄◄ ►► ボタン	：場面や曲の早送り、早戻しをします。JPEGの画面をズーム(拡大)します。
❙◄◄ ►►❙ ボタン	：場面や曲の頭出しをします。

OPEN/CLOSE（オープン クローズ）ボタン
ディスクトレイを開閉します。

MEMORY（メモリー）ボタン
好きな曲/場面順に再生するように記憶させます。

DIMMER（ディマー）ボタン
表示部の明るさを切り換えます。

REPEAT（リピート）ボタン
くり返し再生を始めます。

A-Bボタン
DVD、ビデオCD、CDのA-Bくり返し再生を始めます。

RANDOM（ランダム）ボタン
ランダム再生モードを切り換えます。

DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
表示情報を切り換えます。

CLEAR（クリア）ボタン
決定した内容を取り消します。

MENU（メニュー）ボタン
メニュー画面を表示します。
JPEGのサムネイルやMP3のナビゲーター画面を表示します。

SETUP（セットアップ）ボタン
設定画面を表示します。

ZOOM（ズーム）ボタン
DVD、ビデオCDの画面をズーム（拡大）します。

SUBTITLE（サブタイトル）ボタン
DVDの字幕言語を切り換えます。

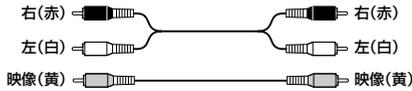
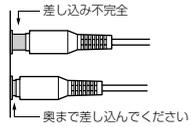
STEP/SLOW（ステップ スロー）＋/－ボタン
DVD、ビデオCDをコマ送り、スロー再生します。

接続する

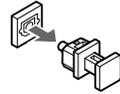
接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

ビデオ用、オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネル、黄色のコネクター（Vの表示）をビデオチャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル入力端子/出力端子について

本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

映像/音声ケーブルと端子の種類について

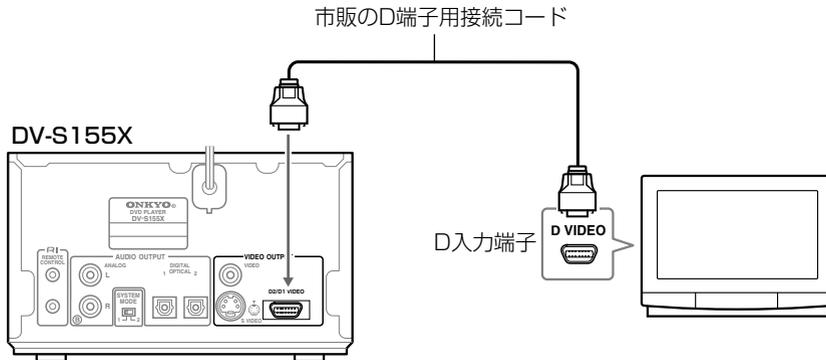
映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
D端子用 接続コード			Sビデオより良い画質が得られます。
Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像より良い画質が得られます。
ビデオコード		VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル （OPTICAL（オプティカル））		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル信号を伝送します。
オーディオ用 ピンコード		AUDIO L R	アナログ音声を伝送します。

テレビを接続する

DVDなどの映像をテレビに映すために、本機とテレビを接続します。接続する端子の種類によって接続方法が異なります。テレビにある端子を確認し、D入力端子、Sビデオ端子、ビデオ端子のいずれかを接続します。

■ テレビにD入力端子がある場合

テレビのD1、2、3、4のいずれかの端子と本機のD2/D1 VIDEO（ビデオ）端子を市販のD端子用接続コードで接続します。コンポーネント端子があるときは、市販のD端子－コンポーネント端子変換コードが使用できます。

映像の出力方式を切り換えるには

接続したテレビがプログレッシブ対応テレビのとき、映像の出力方式を本体またはリモコンのPROGRESSIVE（プログレッシブ）ボタンで切り換えることができます。停止中に行ってください。

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE（プログレッシブ）」が点灯します。

インターレース（お買い上げ時の設定）：
プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときに選択します。

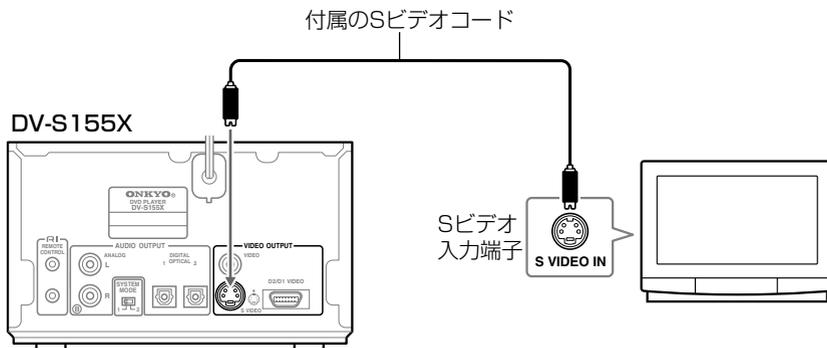
ご注意

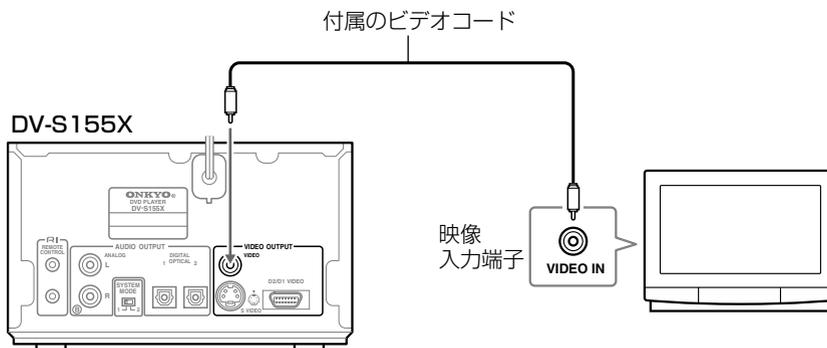
- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が正しく出力されません。再度リモコンのPROGRESSIVEボタンを押してプログレッシブを解除してください。
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

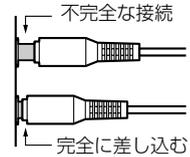
本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

■ テレビにSビデオ端子がある場合

付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。

■ テレビにD入力端子もSビデオ端子もない場合

付属の黄色のビデオコードでビデオ接続をしてください。

アンプと接続する

- アンプの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、接続するすべての機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

> **ご注意**
>
> 本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。故障の原因となることがあります。

① PR-155XなどのドルビーデジタルやDTSに対応しているアンプと接続する
ドルビーデジタルやDTS音声がお楽しみいただけます。

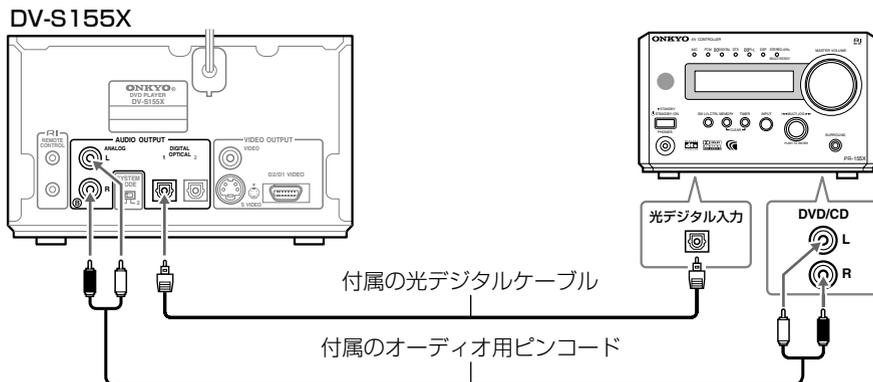
② R-801AなどのドルビーデジタルやDTSに対応していないアンプと接続する
2チャンネルの音声出力をオーディオ用スピーカーでお楽しみいただけます。

③ テレビの音声入力と接続する

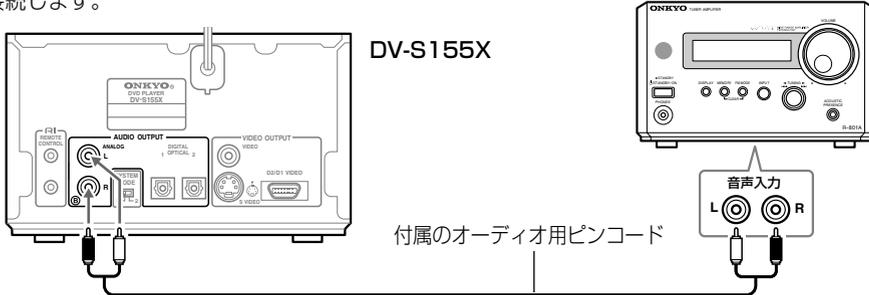
■ オンキヨー製PR-155XなどのドルビーデジタルやDTSに対応しているアンプと接続する

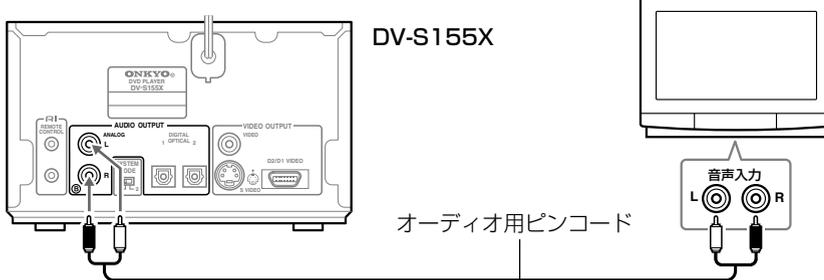
オーディオ用光デジタルケーブルで本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） DIGITAL（デジタル） OPTICAL（オプティカル）端子とアンプの光デジタル入力端子を接続します。
付属のオーディオ用ピンコードで本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子とアンプの音声入力端子を接続します。

！ヒント

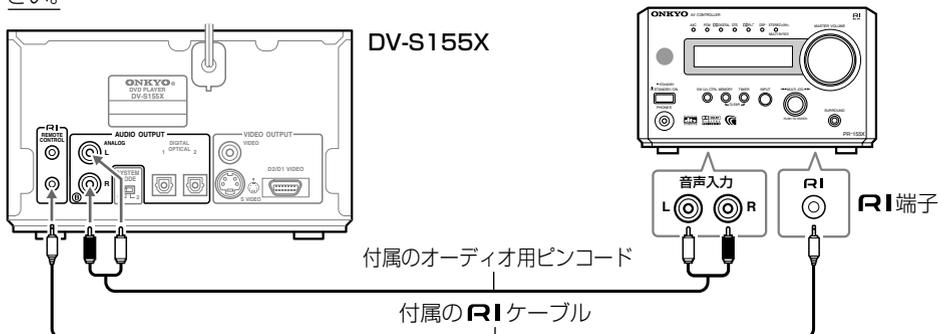
デジタル端子の接続だけでDVDビデオの5.1ch再生をお楽しみいただけますが、本機からアンプに接続しているMDレコーダーなどにアナログ録音するときのため、またオンキヨー製アンプとのシステム動作を可能にするためには、アナログ接続も必要です。

接続する

■ オンキヨー製R-801AなどのドルビーデジタルやDTSに対応していないアンプと接続する

付属のオーディオ用ピンコードで本機のAUDIO OUTPUT ANALOG端子とアンプの音声入力端子を接続します。

■ テレビの音声入力と接続する

テレビに内蔵されたスピーカーから音声が出力されます。

RIケーブルの接続

付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製アンプまたはチューナーアンプを接続すると、アンプまたはチューナーアンプに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

接続する（INTEC155 との接続）

システム機能について

INTEC155シリーズの組み合わせでRIケーブルとオーディオ用ピンコードを接続すると、次のシステム機能を使うことができます。RIケーブルとは、オンキヨーのシステム動作用ケーブルです。

INTEC155シリーズのアンプ内蔵機器（PR-155X、PR-155、PR-155SP、R-801A）と接続する場合

システム接続のしかた

155シリーズアンプ内蔵機器の各取扱説明書をご覧ください。

オートパワーオン
本機の電源をオンにしたり、再生を始めると、アンプ内蔵機器の電源が自動的にオンになります。
また、本機を使用しないときは、本機のみの電源をオフにすることができます。

ダイレクトチェンジ
本機の▶（プレイ）ボタンを押すと、アンプ内蔵機器の入力が自動的にDVDに切り換わります。

リモコン操作
アンプ内蔵機器に付属のリモコンで本機を操作することができます。

詳しくは155シリーズアンプ内蔵機器の取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
CDのみタイマー演奏ができます。

詳しくは155シリーズアンプ内蔵機器の取扱説明をご覧ください。

シグナルシンクロ録音
MDレコーダーまたはCDレコーダーをシグナルウエイト状態にしておけば本機のプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくはMDレコーダーまたはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

アンプ内蔵機器にMD-101A（MDレコーダー）やCDR-201A（CDレコーダー）もシステム接続している場合は、以下の機能を使うことができます。ただし、この場合は本機とアンプ内蔵機器の設定が必要ですので「システム機能について（CDダビング、CDシンクロ録音機能を使う）」（☞22、23ページ）をご覧ください。

CDダビング
本機からMDレコーダー、CDレコーダーへワンタッチでダビングできます。（CDのみ）

CDシンクロ録音
MDレコーダーを録音待機状態にしておけば、本機のプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。（CDのみ）

接続と設定については本取扱説明書の22、23ページをご覧ください。録音操作については、MD-101AまたはCDR-201Aの各取扱説明書をご覧ください。

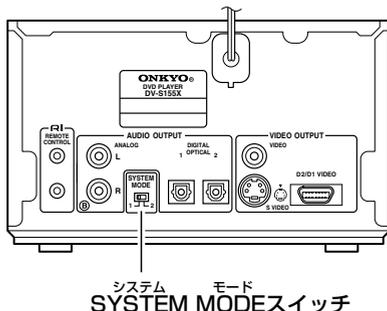
- 接続が正しくないと各機能は働きません。オーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する（INTEC155 との接続）

システム機能について（CDダビング、CDシンクロ録音機能を使う）

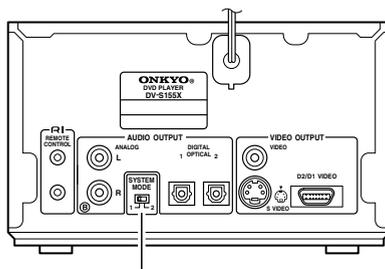
CDダビング、CDシンクロ録音は、本機と以下の製品の組み合わせのときに働きます。
INTEC155シリーズのアンプ内蔵製品（PR-155X、PR-155、PR-155SP、R-801A）とMDレコーダー（MD-101A)、CDレコーダー（CDR-201A）との組み合わせ

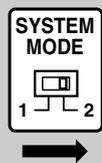
■ PR-155Xと組み合わせる場合の接続と設定

SYSTEM(システム) MODE(モード)スイッチ

1	**本機とPR-155Xをシステム接続する** 本機のAUDIO(オーディオ) OUTPUT(アウトプット) ANALOG(アナログ)端子とPR-155XのDVD/CD端子が接続されていること、RI接続がされていることをご確認ください。（☞20ページをご覧ください。）
2 SYSTEM MODE 1 2	**本機のSYSTEM(システム) MODE(モード)スイッチを「1」側にする** お買い上げ時は「1」側に設定されています。
3	**PR-155Xの入力表示名称を「DVD」にする** 入力表示名称の切り換えかたは、PR-155Xの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- CDシンクロ録音は、アナログ入力録音になります。デジタル入力でのCDシンクロ録音は働きません。
- 録音操作については、MD-101AまたはCDR-201Aの取扱説明書のCDダビング、CDシンクロ録音の各項目をご覧ください。

■ PR-155、PR-155SPまたはR-801Aと組み合わせる場合の接続と設定

SYSTEM（システム） MODE（モード）スイッチ

1	**本機とPR-155、PR-155SPまたはR-801Aをシステム接続する** 本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子とPR-155、PR-155SPのDVD/CD端子、R-801Aの場合はCD/DVD端子が接続されていること、RI接続がされていることをご確認ください。（☞20ページをご覧ください。）
2 SYSTEM MODE 1 2	**本機のSYSTEM（システム） MODE（モード）スイッチを「2」側にする** ご注意 お買い上げ時は「1」側に設定されていますので、必ず「2」側に設定してください。
3	**PR-155、PR-155SPまたはR-801Aの入力表示名称を「CD」にする** 入力表示名称の切り換えかたは、PR-155、PR-155SPまたはR-801Aの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

録音操作については、MD-101AまたはCDR-201Aの取扱説明書のCDダビング、CDシンクロ録音の各項目をご覧ください。

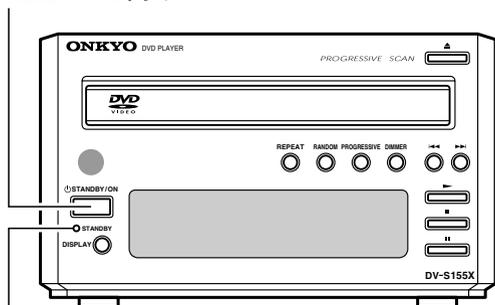
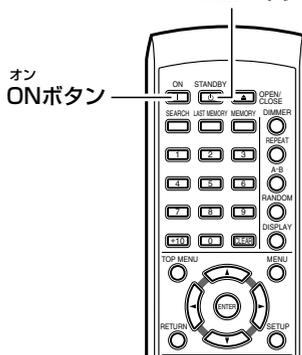
電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBYインジケーターが点灯します。

例：

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

電源を入れる

本体

⏻STANDBY/ON

または

リモコン

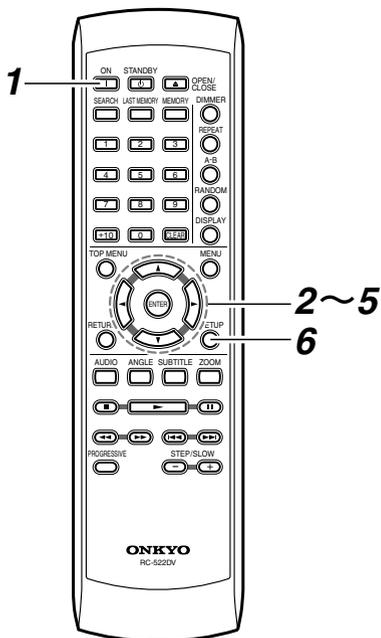
ON

本体のSTANDBY/ONボタンまたはリモコンのONボタンを押す

電源を切るときは、本体のSTANDBY/ONボタンまたはリモコンのSTANDBYボタンを押します。

DVD の基本設定

テレビ画面を使ってDVDの基本的な設定をします。(この機能を再生中に使うことはできません。)
テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。本機の電源を入れるとテレビに基本設定画面が表示されます。

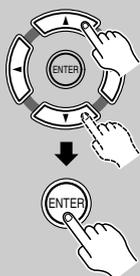
1

ON（オン）ボタンを押して電源を入れる

テレビに基本設定画面が表示されます。

表示されないときは、SETUP（セットアップ）ボタンを押してください。

▲/▼ボタンでTV画面形状を選択し、ENTER（エンター）ボタンを押します。

➡ 次ページへ続く

2

接続したテレビの画面形状を選ぶ

▲/▼ボタンでテレビの種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押します。

4：3 レターボックス
縦横比が4：3（従来サイズ）のテレビと接続したときに選びます。ワイド映像の上下に黒帯をつけます。

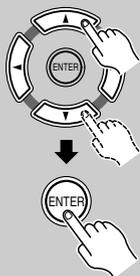
4：3 パンスキャン
縦横比が4：3（従来サイズ）のテレビと接続したときに選びます。画面全体に画像が表示され、左右両端の画像がカットされます。この方式に対応していないDVDのときはレターボックス方式になります。

16：9 ワイド
縦横比が16：9（ワイド）のテレビと接続したときに選びます。

16：9 シュリンク
縦横比が16：9（ワイド）のテレビと接続したとき、4：3で記録された映像が横長（16：9の映像）になり、テレビ側では4：3の映像に切り換えられないときに選びます。4：3で記録された画像は4：3で出力します。

！ヒント

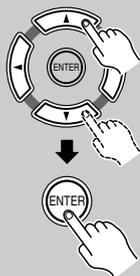
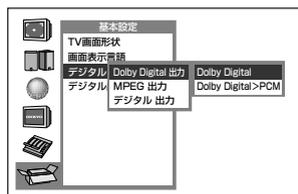
ディスクによってはこの設定の効果がない場合があります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

3

画面表示に使う言語の種類を選ぶ

▲/▼ボタンで画面に表示したい言語の種類を選び、ENTERボタンを押します。

English：英語で表示します。

日本語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）

4

デジタル（デジタル）出力/Digital 1の設定を選ぶ

▲/▼ボタンで設定を選び、ENTERボタンを押します。
本機に接続したAVアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。アンプの取扱説明書もあわせてお読みください。

本機のDIGITAL OPTICAL 1端子からは、ここで設定した信号が出力されます。

- **Dolby Digital出力**

  Dolby Digital：
  ドルビーデジタルに対応しているAVアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

  Dolby Digital＞PCM：
  ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。

！ヒント

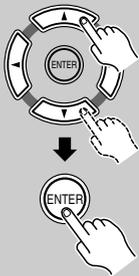
本機とMDレコーダーをデジタル接続している場合、接続している方のデジタル端子（Digital 1または2）の設定を「Dolby Digital＞PCM」にすると、ドルビーデジタルの音声をPCMに変換してMDレコーダーに録音することができます。

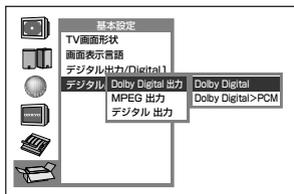
- **MPEG出力**

  MPEG：
  MPEGに対応しているAVアンプと接続したときに選びます。

  MPEG＞PCM：
  MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

- **デジタル出力**

  本機のデジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定をします。
  オン：デジタル端子からデジタル音声が出力されます。
  オフ：デジタル端子からデジタル音声は出力されません。

5 デジタル出力/Digital 2の設定を選ぶ

手順***4*** と同様にデジタル出力/Digital 2の設定を選びます。
本機のDIGITAL OPTICAL 2端子からは、ここで設定した信号が出力されます。

6 基本設定を終了する

基本設定画面が消えない場合、SETUPボタンを押します。

DVD を再生する（基本の再生）

DVDを再生する

DVDビデオを見るときはテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

警告	音声を以下の方法で出力している場合は、DTS方式で記録されたディスクを再生しないでください。アナログ端子からノイズが過剰出力され、接続した機器が故障する場合があります。 **● アナログ接続したアンプを通して出力している場合（オンキヨー製R-801Aなど）** **● テレビのスピーカーから出力している場合** DTS方式の音声を再生するには、DTSに対応したアンプとデジタル端子による接続をする必要があります。(☞19ページ)

1

DVDをセットする

❶ ≜（オープン/クローズ）ボタンを押して、トレイを開く

❷ DVDをトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。

！ヒント

スタンバイ状態のときにDVDの≜ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2

►（プレイ）ボタンを押す

トレイが閉まってディスクを読み込んだあと、再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。ディスクを読み込むのに時間がかかることがあります。

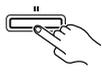
DVDを取り出す

≜ボタンを押します。

再生を止める

■ボタンを押す

「リジューム」機能（☞84ページ）が働きます。
▶ボタンを押すと、再生を止めたところから再生が始まります。
もう一度■ボタンを押すと、停止します。
（リジューム機能は解除されます。）

一時停止する

Ⅱボタンを押す

表示部にⅡ表示が点灯します。もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

見たいチャプターにスキップする

見たいチャプターに進むには

本体　リモコン

再生中に本体かリモコンの▶▶Ⅰボタンを押す

見たいチャプターに戻るには

本体　リモコン

再生中に本体かリモコンのⅠ◀◀ボタンを押す

早戻し/早送りをする

早送りするには

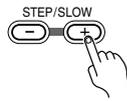
再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す
くり返し押すと早送りの速さが5段階に変わります。

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す
くり返し押すと早戻しの速さが5段階に変わります。

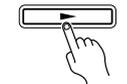
通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

画像をコマ送りで見る

一時停止中にリモコンのSTEP/SLOW＋ボタンを押す
押すたびにコマ送りします。

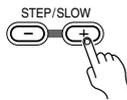
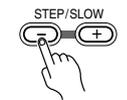
逆方向にコマ送りするには

一時停止中にリモコンのSTEP/SLOW－ボタンを押す
押すたびに逆方向にコマ送りします。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

！ヒント

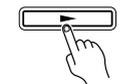
- コマ送り中は音声が出力されません。
- ディスクによってはコマ送り再生中に画像が揺れることがあります。
- 静止画の画像にブレがあるときは、機能設定で画像調整をすることができます。（☞77ページ）

画像をスローで見る

再生中にリモコンのＳＴＥＰ/SLOW＋ボタンを押す
画面に「スロー１」と表示され、スロー再生が始まります。
くり返し押すと、スロー再生の速さが4段階に切り換わります。

逆方向にスロー再生するには

再生中にリモコンのＳＴＥＰ/SLOW－ボタンを押す
くり返し押すと、スロー再生の速さが4段階に切り換わります。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

！ヒント

スロー再生中は音声が出力されません。

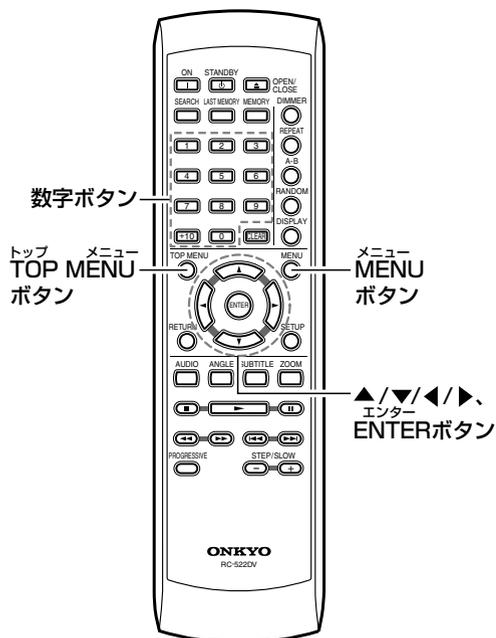
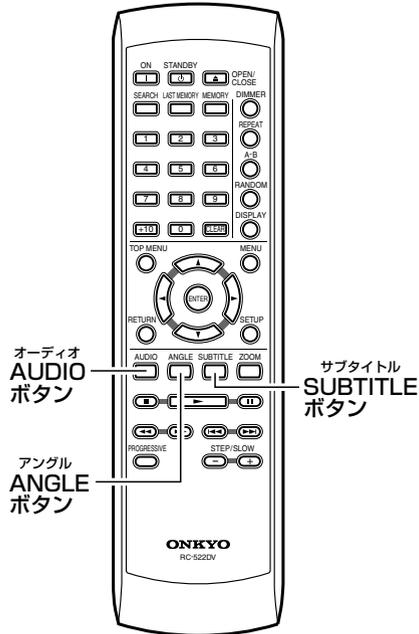
ディスクメニューについて

DVDビデオでは、ディスクに含まれているメニューで音声や字幕の言語を切り換えたり、タイトルやチャプターを選んだり、特別に収録された映像などを見ることができるものがあります。メニュー画面の操作方法はディスクにより異なりますので、ディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。

メニューを表示するには

MENUボタンまたはTOP MENUボタンを押してください。
ディスクによってはメニューが含まれていない場合もあります。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは

▲/▼/◀/▶ボタンや数字ボタンで言語や音声方式、タイトルやチャプターを選び、ENTERボタンを押して決定します。

音声、字幕、アングルを切り換える

再生中に音声を切り換える

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

！ヒント

- ここで切り換えた音声の設定はリジューム機能（☞84ページ）を解除したとき、もとの設定に戻ります。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- DVDの中には、再生中にリモコンのAUDIOボタンで音声を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。（☞30ページ）

再生中に字幕を切り換える

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSUBTITLE（サブタイトル）ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。
押すたびに字幕が切り換わります。

字幕を消すには

SUBTITLEボタンをくり返し押して「字幕なし」を選びます。

！ヒント

- ここで切り換えた字幕の設定は、リジューム機能（☞84ページ）を解除したとき、もとの設定に戻ります。
- DVDの中には、再生中にリモコンのSUBTITLEボタンで字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。（☞30ページ）

カメラアングルを切り換える

複数の方向（アングル)から写した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1

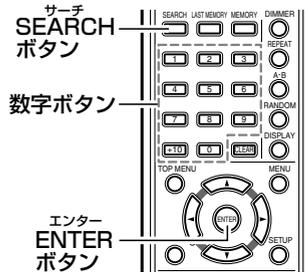
マークが表示されたら、ANGLE（アングル）ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくるとマークが表示部に表示されます。
押すたびにアングルが切り換ります。

！ヒント

- ディスクによってはマークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- ディスクによってはディスクのメニュー画面でもアングル切り換えることができます。
- ディスクによっては一時停止中のアングル切り換えを禁止しているものがあります。

DV-S155X(25-35)(SN29343572) 32 04.1.16, 3:25 PM
ブラック

見たい/聞きたい場所を探す

タイトル/チャプターを指定して再生する

DVDのタイトル/チャプターを指定して再生します。

1

再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

希望のタイトル/チャプターまたはトラックを選ぶ

DVDのタイトルを選択する場合は◀ボタンを押し、数字ボタンで番号を指定します。

例：

- 3を選ぶには「3」を押します。
- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

取り消したい場合はCLEAR（クリア）ボタンを押します。

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接チャプターやトラックを選択することもできます。（10を選ぶには「＋10」と「0」を押します。）
- DVDにタイトルやチャプターがひとつしかない場合はタイトルやチャプターは選択できません。
- DVDの中のメニューから選べる場合もあります。
- DVDによってはタイトルのみ選択できるもの、またタイトルが選択できないディスクがあります。

ご注意　ランダム再生中は、タイトル/チャプターを指定して再生することはできません。

DVD を再生する（基本の再生）

タイムサーチを使って再生する

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

SEARCH

再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを2回押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

数字ボタンで再生したい時間を指定する

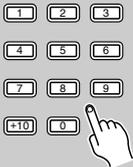
例：

- 21分43秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分（＝74分00秒）を選ぶには「7」、「4」、「0」、「0」と押します。

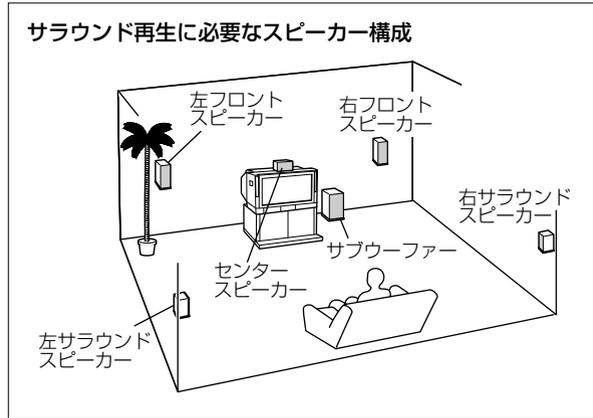
3

ENTER（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください。
- ディスクによっては指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中はタイムサーチはできません。
- タイトル内の時間が指定できます。

音声方式と音声効果について

DTS、ドルビーデジタルの、5.1チャンネルデジタルサラウンド方式は、5つのチャンネルと低音域効果のチャンネルが独立して記録されており、それぞれのチャンネルを独立して再生することができます。これにより、劇場やコンサートホールの臨場感を再現することができます。

ドルビーデジタル

DOLBY DIGITAL マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。

DTS

dts マークのあるDVDビデオや音楽CDがこの方式で記録されています。

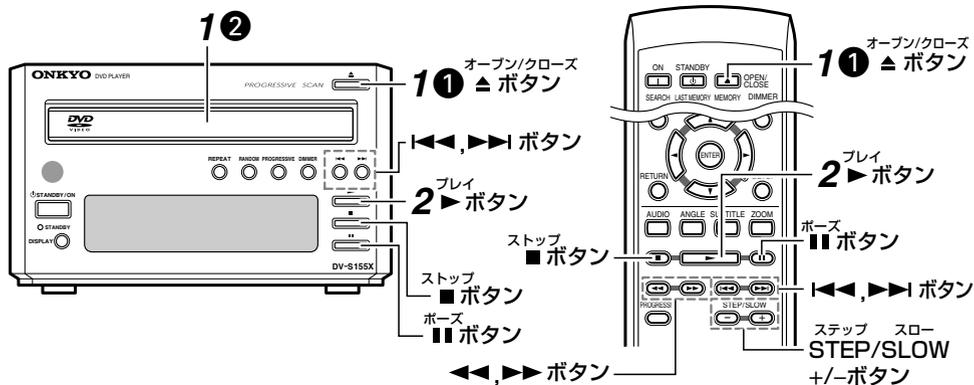
ドルビープロロジック

DOLBY SURROUND マークのついたDVDビデオがこの音声方式で記録されています。

CD やビデオ CD を再生する（基本の再生）

CDやビデオCDを再生する

ビデオCDを見るときはテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

1

ディスクをセットする

❶≜ボタンを押して、トレイを開く（オープン/クローズ）

❷ディスクをトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

！ヒント

スタンバイ状態のときに≜ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

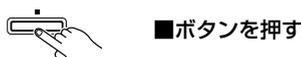
2

▶ボタンを押す（プレイ）

トレイが閉まってディスクを読み込んだあと、再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。ディスクを読み込むのに時間がかかることがあります。

ディスクを取り出す

≜ボタンを押します。

再生を止める CD

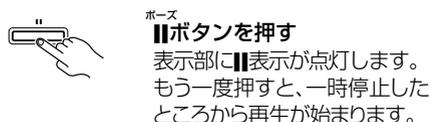
ストップ
■ボタンを押す

再生を止める VCD

■ボタンを押す

「リジューム」機能（☞84ページ）が働きます。
プレイ
▶ボタンを押すと、再生を止めたところから再生が始まります。
もう一度■ボタンを押すと、停止します。
（リジューム機能は解除されます。）

一時停止する VCD CD

ポーズ
❚❚ボタンを押す
表示部に❚❚表示が点灯します。
もう一度押すと､一時停止したところから再生が始まります。

見たいトラックにスキップする VCD CD

見たいトラックに進むには

再生中に本体かリモコンの▶▶❚ボタンを押す

見たいトラックに戻るには

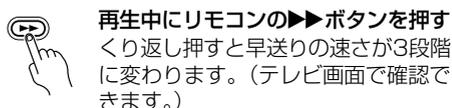
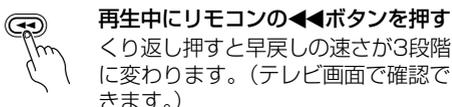
再生中に本体かリモコンの❚◀◀ボタンを押す

早戻し/早送りをする VCD CD

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す
くり返し押すと早送りの速さが3段階に変わります。（テレビ画面で確認できます。）

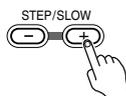
早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す
くり返し押すと早戻しの速さが3段階に変わります。（テレビ画面で確認できます。）

！ヒント

ビデオCDの早送り、早戻し中は音声は聞こえません。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

画像をコマ送りで見る VCD

一時停止中にリモコンの
ステップ　スロー
STEP/SLOW＋ボタンを押す
押すたびにコマ送りします。

ご注意

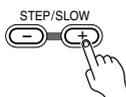
逆方向のコマ送り再生はできません。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

！ヒント

- コマ送り中は音声が出力されません。
- ディスクによってはコマ送り再生中に画像が揺れることがあります。
- 静止画の画像にブレがあるときは、機能設定で画像調整をすることができます。（☞77ページ）

画像をスローで見る VCD

再生中にリモコンのSTEP/SLOW＋ボタンを押す
画面に「スロー１」と表示され、スロー再生が始まります。
くり返し押すとスロー再生の速さが3段階に切り換わります。

ご注意

逆方向のスロー再生はできません。

通常の再生に戻すには

▶ボタンを押す

！ヒント

スロー再生中は音声が出力されません。

メニューについて VCD

PBC（Playback Control）機能付きのビデオCD（☞80ページ「ビデオCDについて」）は、メニューでトラック（☞83ページ「ディスクに関する用語について」）を選べます。

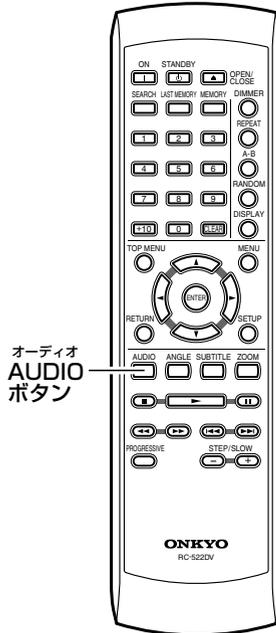
ビデオCDの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは

数字ボタンで項目や設定を選びます。

メニュー画面を出さずに（PBC再生を解除して）再生するときは

停止中にTOP MENUボタンを押します。
数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

PBC再生中にメニューに戻るには

RETURN（リターン）ボタンを押します。
機能設定のPBCをオンにしておく必要があります。（☞78ページ）

音声を切り換える VCD

再生中に音声を切り換える VCD

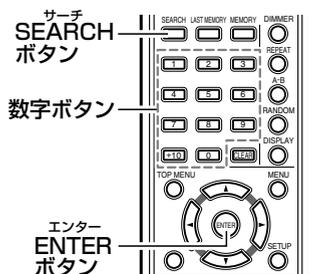
ステレオ、モノラルL、モノラルRを切り換えることができます。

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

！ヒント

- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

見たい/聞きたい場所を探す

トラックを指定して再生する VCD CD

ビデオCD/CDのトラックを指定して再生します。

1

再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

希望のトラックを選ぶ

例：

- 3を選ぶには「3」を押します。
- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

取り消したい場合はCLEAR（クリア）ボタンを押します。

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接トラックを選択することもできます。（10を選ぶには「+10」と「0」を押します。）
- ビデオCDの中のメニューから選べる場合もあります。
- ビデオCDのPBC再生中は、トラックを指定して再生したり、数字ボタンでトラックを選んだりすることはできません。（☞38ページ）

ご注意　ランダム再生中は、トラックを指定して再生することはできません。

タイムサーチを使って再生する VCD CD

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

SEARCH

再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを2回押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

数字ボタンで再生したい時間を指定する

例：

- 21分43秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分（＝74分00秒）を選ぶには「7」、「4」、「0」、「0」と押します。

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

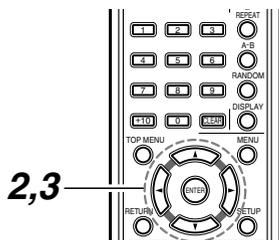
再生が始まります。

！ヒント

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください。
- ディスクによっては指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください。（☞38ページ）
- ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中はタイムサーチはできません。
- トラック内の時間が指定できます。

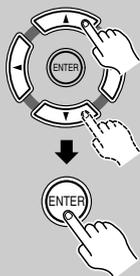
MP3、WMA、JPEGを再生する（基本の再生）

MP3、WMAを再生する

MP3、WMAを再生します。MP3やWMAとは音声圧縮技術規格の名称です。記録方法やデータによって再生できない場合があります。（☞81ページ）

1

ディスクをセットする

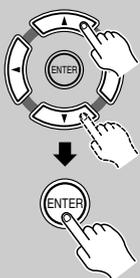
自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して、フォルダを選びENTER（エンター）ボタンを押す

フォルダが開き、トラック欄に1つ下の階層が表示されます。

フォルダを閉じて前の手順に戻るには

RETURN（リターン）ボタンを押します。

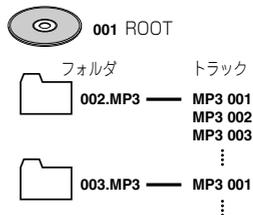
3

▲/▼ボタンで再生したいトラックを選び、ENTERボタンを押す

再生が始まります。
再生中にはフォルダ番号、トラック番号、経過時間が右上に表示されます。

！ヒント

ランダム再生中にディスクナビゲーターを使用すると◀/▶/▲/▼ボタンは使用できません。

■ 番号のつきかた

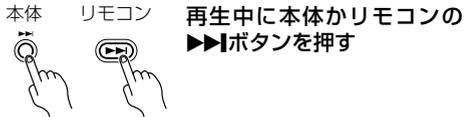
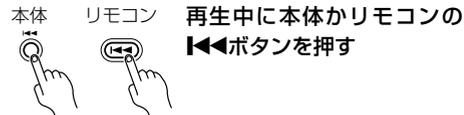
自動的に番号が表示されます。

見たいトラックにスキップする

MP3 WMA

見たいトラックに進むには

再生中に本体かリモコンの▶▶▌ボタンを押す

見たいトラックに戻るには

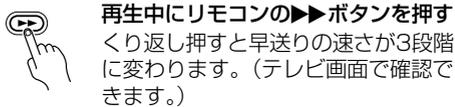
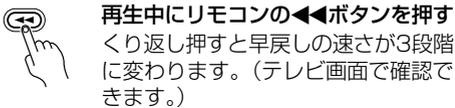
再生中に本体かリモコンの▌◀◀ボタンを押す

リモコンで早戻し/早送りをする

MP3 WMA

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す
くり返し押すと早送りの速さが3段階に変わります。（テレビ画面で確認できます。）

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す
くり返し押すと早戻しの速さが3段階に変わります。（テレビ画面で確認できます。）

！ヒント

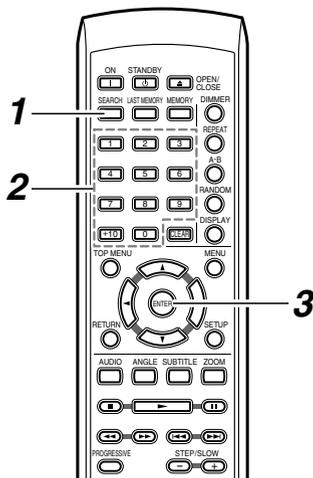
WMAの早戻しはできません。

通常の再生に戻すには

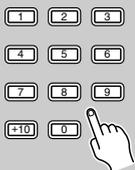
▶（プレイ）ボタンを押す

MP3、WMA、JPEG を再生する（基本の再生）

聞きたいトラックを選ぶ MP3 WMA

1

再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

数字ボタンでフォルダ内のトラック番号を指定する

例：

- 003を選ぶには「3」を押します。
- 010を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 037を選ぶには「3」と「7」を押します。

3

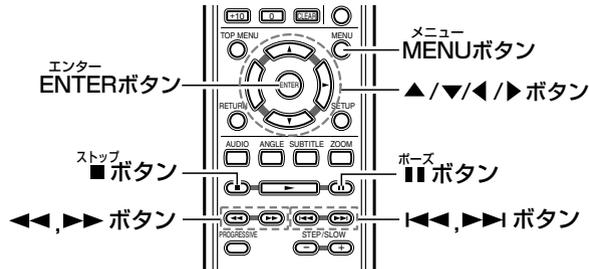
ENTER（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクナビゲーターのサーチ画面を表示しなくても数字ボタンで選択することもできます。（10を選ぶには「＋10」と「0」を押します。）
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。

JPEG CDを再生する JPEG

テレビ画面でJPEG画像を見ることができます。JPEGとは静止画の圧縮方式です。記録方法やデータによって再生できない場合や操作に制限がかかることがあります。

JPEG（画像）データの入ったディスクをトレイにセットする

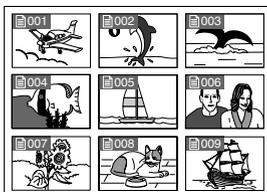
ディスクを入れると自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。ディスクによってサムネイル一覧画面が表示されることもあります。

サムネイル

！ヒント

- JPEGの解像度が640/480ピクセル以下の場合のみサムネイルが表示されます。
- 解像度が640/480以上の場合は、サムネイルデータがあるときのみ表示されます。
- テレビ画面設定が16：9シュリンクのとき、ディスクナビゲーターによるサムネイルは表示されません。

サムネイル一覧画像を見るには

MENUボタンを押します。
サムネイル一覧画面が表示されます。

ディスクナビゲーターを表示するには

▲/▼/◀/▶ボタンでフォルダアイコンを選択し、ENTERボタンを押します。

スライドショーを見るには

スライドショー形式で、画像を自動で切り換えて表示することができます。
開始する画像を選び、ENTERボタンを押します。
全ての画像が表示されたら自動的に停止します。

■ スライドショー中にこんな機能が使えます

次のページを表示するには
▶▶❙ボタンを押します。

前のページを表示するには
❙◀◀ボタンを押します。

画像を回転させるには
リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンを押します。

！ヒント

ズーム中はできません。

ズーム（拡大）するには
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押します。
▲/▼/◀/▶ボタンで位置を調整できます。ズームをするとスライドショーは一時停止します。

ズーム（拡大）をやめるには
▶（プレイ）ボタンを押します。

スライドショーを一時停止するには
❙❙（ポーズ）ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

スライドショーをやめるには
■（ストップ）ボタンまたはMENUボタンを押します。

！ヒント

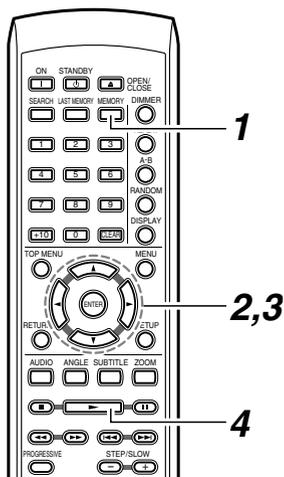
- データ形式やファイルサイズによってズームできない画像もあります。
- 映像の出力方式がプログレッシブのときは、ズームできません。インターレース方式に切り換えてください。

DVD のいろいろな再生

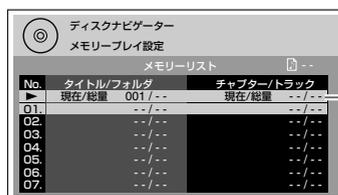
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする

DVDのタイトル/チャプターを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1

MEMORY

MEMORY(メモリー)ボタンを押す

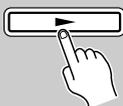
メモリープレイ設定画面が表示されます。
◀/▶ボタンでチャプターまたはタイトルを選びます。

2

▲/▼ボタンでメモリーしたいチャプターやトラックを指定する

「オール」を選ぶとディスク内の全てのタイトル、チャプターをメモリーします。

数字ボタンでも入力することができます。

- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。
- 取り消したい場合はCLEAR(クリア)ボタンを押します。
- オールを選ぶには「0」を押します。

➥ 次ページへ続く

3

ENTER(エンター)ボタンを押す

続いて指定するには手順 ***2***、***3*** をくり返します。

4

▶(プレイ)ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

■メモリー再生を停止するには

■(ストップ)ボタンを2回押す

■メモリーする項目を挿入するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、▶ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで挿入したい場所を選びENTERボタンを押す
4. メモリーしたいタイトル、チャプターを選びENTERボタンを押す

■メモリーした項目を消去するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、▶ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで消去したい項目を選び、CLEAR(クリア)ボタンを押す

■メモリー設定画面を終了するには

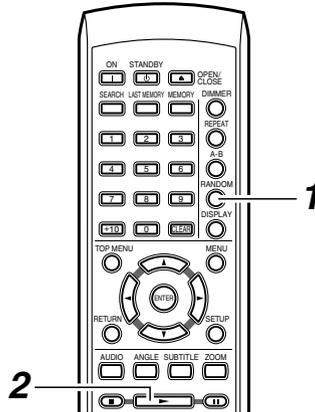
MEMORY(メモリー)ボタンを押します。

！ヒント

- ディスクによってはメモリー再生を禁止しているものがあります。
- チャプターが変わるときに、メモリーしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。
- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。

順不同に再生をする（ランダム再生）

タイトルやチャプターをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1

RANDOM（ランダム）ボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

タイトルランダム、ディスクランダム再生から選びます。
タイトルランダム（タイトル内のチャプターをランダム再生します。）
ディスクランダム（ディスク内のタイトル、チャプターをランダム再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

！ヒント

- ランダム再生中に▶▶▌ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。

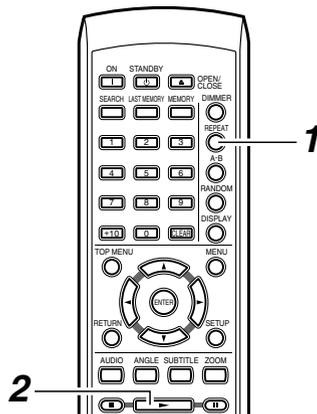
通常の再生に戻すには

画面に「ランダム解除」と表示されるまで、RANDOMボタンを（くり返し）押します。

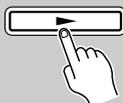
DV-S155X(47-64)(SN29343572) 49 04.1.16, 3:27 PM
ブラック

くり返し再生をする（リピート再生）

選んだタイトル/チャプターをくり返し再生したり、ディスクをくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生、通常の再生と組み合わせて使うことができます。

1

REPEAT

REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押し、リピート再生の種類を選ぶ

チャプターリピート、タイトルリピート、ディスクリピート再生から選びます。
チャプターリピート（選んだチャプターをくり返し再生します。）
タイトルリピート（タイトル内のチャプターをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にREPEATボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには

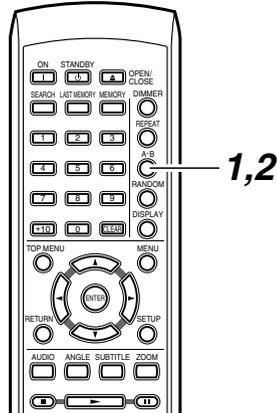
画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT」が消えるまでREPEATボタンを（くり返し）押します。

選んだ部分だけをくり返し再生する（A−Bリピート再生）

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1

再生中にくり返したい場所の始め（A点）でA-Bボタンを押す

2

くり返したい場所の終わり（B点）でA-Bボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

！ヒント

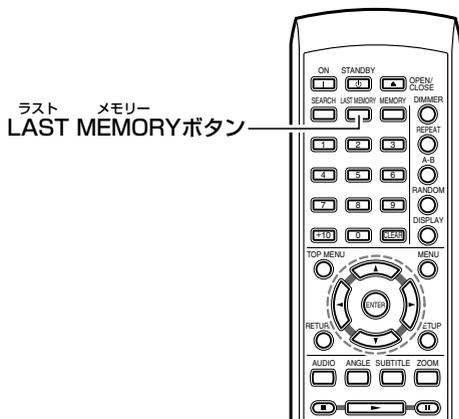
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはA-Bリピート再生を禁止しているものがあります。
- A-Bリピート再生中にアングルを切り換えても（☞32ページ）A点から再生が始まるときに、もとのアングルに戻ります。

通常の再生に戻すには

CLEAR（クリア）ボタンを押す

画面に「リピート解除」と表示されるまで、REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押しても、通常の再生に戻ります。

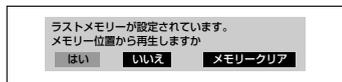
ラストメモリー機能を使う

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所、そのときの設定内容を6枚まで記憶させておくことができます。

再生中にLAST MEMORY(ラスト メモリー)ボタンを押す

表示部に「LAST MEMO(ラスト メモリー)」と表示され、押した場所が記憶されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

■ つづきから見るには

1. **続きから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
   DVDにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。

2. **▶(プレイ)ボタンを押す**

3. **◀/▶ボタンでそのまま再生する場合は「いいえ」を選び、記憶させた場所から再生するには「はい」を選ぶ**

4. **ENTER(エンター)ボタンを押す**
   つづきから再生が始まります。

リジューム機能が働いている場合は、前回停止した場所から再生が始まります。ラストメモリー機能を使うときは、もう一度■(ストップ)ボタンを押してください。

■ ラストメモリーを消去するには

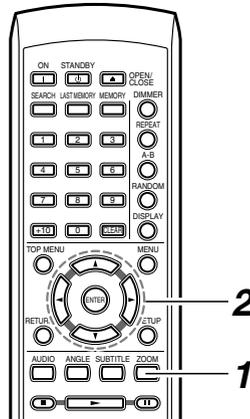
手順***3*** で「メモリークリア」を選び、ENTERボタンを押します。

!ヒント

- ディスクによってはラストメモリーできないものがあります。
- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- 記憶された枚数が6枚を超えると古い記憶から消去されます。
- この機能は、DVD-R/DVD-RWでは正しく働かないことがあります。

ズーム機能を使う DVD

好みの部分をズーム（拡大）することができます。

1

再生中、一時停止中にZOOM（ズーム）ボタンを押す

再生中にZOOM（ズーム）ボタンを押すと、一時停止状態になります。
ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

×1（標準）→×2（2倍）→×4（4倍）→通常再生に戻る

2

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの位置に移動する

ご注意

映像の出力方式がプログレッシブのときは、ズーム（拡大）できません。出力方式をインターレースに切り換えてください。（☞17ページ）

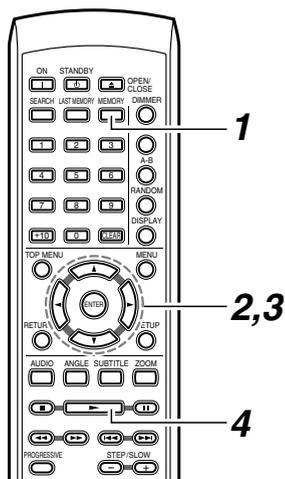
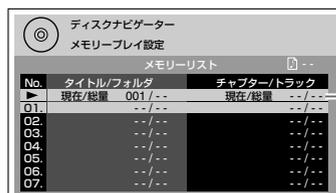
CD やビデオ CD のいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする VCD CD

ビデオCD/CDのトラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1

MEMORY(メモリー)ボタンを押す

メモリープレイ設定画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンでメモリーしたいトラックを指定する

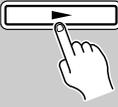
「オール」を選ぶとディスク内の全てのトラックをメモリーします。

！ヒント

数字ボタンでも入力することができます。

例：

- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。
- 取り消したい場合はCLEAR(クリア)ボタンを押します。
- オールを選ぶには「0」を押します。

3	**ENTER(エンター)ボタンを押す** 続いて指定するには手順 ***2***、***3*** をくり返します。
4	**▶(プレイ)ボタンを押す** メモリー再生が始まります。

■メモリー再生を停止するには

■(ストップ)ボタンを2回押す

■メモリーする項目を挿入するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、▶ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで挿入したい場所を選びENTERボタンを押す
4. メモリーしたいトラックを選びENTERボタンを押す

■ メモリーした項目を消去するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、▶ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで消去したい項目を選び、CLEAR(クリア)ボタンを押す

■ メモリー設定画面を終了するには

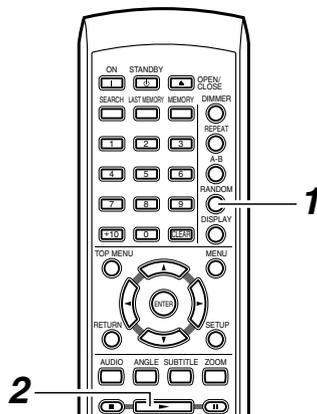
MEMORY(メモリー)ボタンを押します。

！ヒント

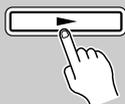
- ディスクによってはメモリー再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。

順不同に再生をする（ランダム再生） VCD CD

トラックをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1

RANDOM（ランダム）ボタンを（くり返し）押す

ディスクランダム（ディスク内のトラックをランダム再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

！ヒント

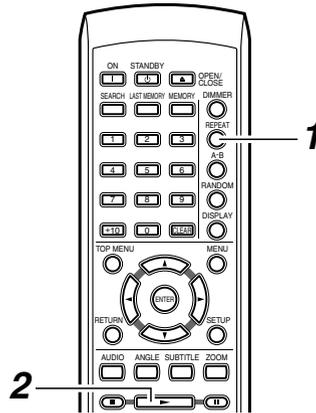
- ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。PBC再生を解除してからRANDOMボタンを押します。（☞38ページ）

通常の再生に戻すには

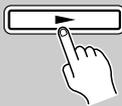
画面に「ランダム解除」と表示されるまで、RANDOMボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生） VCD CD

選んだトラックをくり返し再生したり、ディスクをくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生、通常の再生と組み合わせて使うことができます。

1

REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押す

トラックリピートまたはディスクリピート再生から選びます。
トラックリピート（選んだトラックをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

再生が始まります。

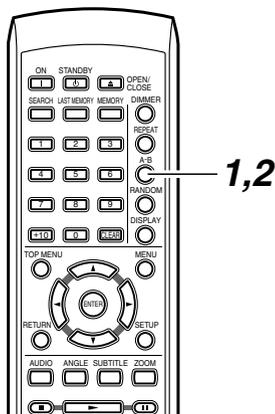
！ヒント

- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してからREPEATボタンを押します。（☞38ページ）
- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にREPEATボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには

画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT」が消えるまでREPEATボタンを（くり返し）押します。

選んだ部分だけをくり返し再生する（A−Bリピート再生） VCD CD

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1

再生中にくり返したい場所の始め（A点）でA-Bボタンを押す

2

くり返したい場所の終わり（B点）でA-B ボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

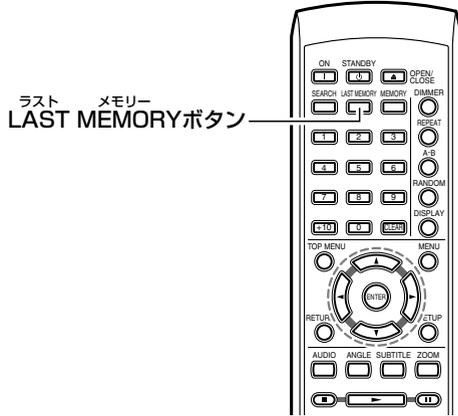
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはA-Bリピート再生を禁止しているものがあります。

通常の再生に戻すには

CLEAR（クリア）ボタンを押す

画面に「リピート解除」と表示されるまで、REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押しても、通常の再生に戻ります。

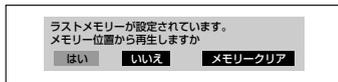
ラストメモリー機能を使う VCD

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所、そのときの設定内容を1枚記憶させておくことができます。

再生中にLAST MEMORYボタンを押す

表示部に「LAST MEMO」と表示され、押した場所が記憶されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

■ つづきから見るには

1. **続きから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
2. **▶ボタンを押す**

ラストメモリーが設定されています。
メモリー位置から再生しますか
はい　いいえ　メモリークリア

3. **◀/▶ボタンでそのまま再生する場合は「いいえ」を選び、記憶させた場所から再生するには「はい」を選ぶ**
4. **ENTERボタンを押す**
   つづきから再生が始まります。

リジューム機能が働いている場合は、前回停止した場所から再生が始まります。ラストメモリー機能を使うときは、もう一度■ボタンを押してください。

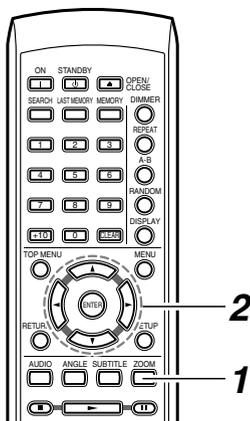
■ ラストメモリーを消去するには

手順***3*** で「メモリークリア」を選び、ENTERボタンを押します。

！ヒント

- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- ビデオCDのPBC再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC再生を解除してください。(☞38ページ)

ズーム機能を使う VCD

好みの部分をズーム（拡大）することができます。

1

再生中、一時停止中にZOOMボタンを押す

再生中にZOOMボタンを押すと、一時停止状態になります。
ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

×1（標準）→×2（2倍）→×4（4倍）→通常再生に戻る

2

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの位置に移動する

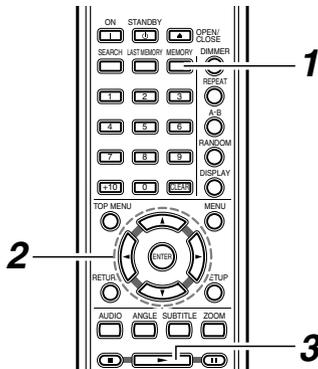
ご注意

映像の出力方式がプログレッシブのときは、ズーム（拡大）できません。出力方式をインターレースに切り換えてください。（☞17ページ）

MP3、WMA、JPEGのいろいろな再生

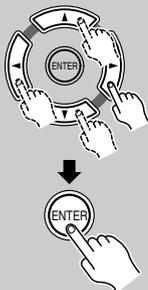
基本の再生以外に、メモリー再生、リピート再生、ランダム再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする MP3 WMA JPEG

1

MEMORY(メモリー)ボタンを押す

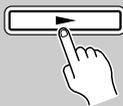
プレイリストが表示されます。

フォルダ欄　トラック欄

2

▲/▼/◀/▶ボタンを押して、メモリーするトラックを選び ENTER(エンター)ボタンを押す

！ヒント

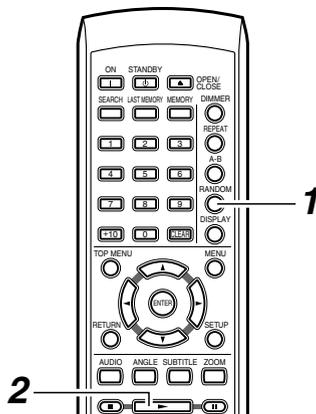
トラック欄でフォルダマークを選択すると、プレイリストに「オール」と表示され、フォルダ内の全てのトラックがメモリーされます。

3

▶(プレイ)ボタンを押す

再生が始まります。

順不同に再生をする（ランダム再生） MP3 WMA JPEG

トラック、フォルダをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1

RANDOM（ランダム）ボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

フォルダランダム、ディスクランダム再生から選びます。
フォルダランダム（フォルダ内のトラックをランダム再生します。）
ディスクランダム（ディスク内のトラックをランダム再生します。）
ただし、サブフォルダの中は再生されません。

2

▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

！ヒント

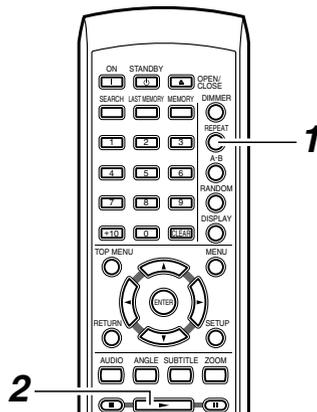
- ランダム再生中に▶▶❙ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ランダム再生中にディスクナビゲーター画面での◀/▶/▲/▼ボタンは使えません。

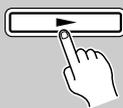
通常の再生に戻すには

画面に「フォルダランダム」も「ディスクランダム」も表示されない状態になるまで、RANDOMボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生）MP3 WMA

選んだフォルダ、トラックをくり返し再生したり、1曲だけくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生と組み合わせて使うことができます。

1

REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押す

トラックリピート、フォルダリピート、ディスクリピート再生から選びます。
トラックリピート（選んだトラックをくり返し再生します。）
フォルダリピート（選んだフォルダをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

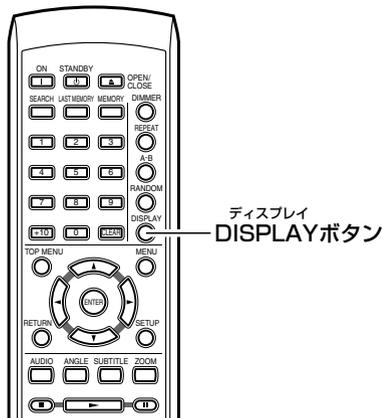
- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にREPEATボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには

画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT」が消えるまでREPEATボタンを（くり返し）押します。

ディスクの情報を見る

ディスクの情報を見る

DVDのタイトル/チャプター情報、ビデオCD/CDのトラック情報、MP3のフォルダ/トラック情報などを見ることができます。表示される情報の内容はディスクの種類によって異なります。

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

もう一度押すと次の情報が表示されます。

DVD

▷ 再生	⦿ディスク DVD			
タイトル	現在/総量	経過時間	残り時間	総時間
	1/2	1.23.34	22.08	1.45.42
オーディオ	1.英語:Dolby Digital 3/2.1ch		アングル	
字幕	1.日本語			1/1

▷ 再生	⦿ディスク DVD			
チャプター	現在/総量	経過時間	残り時間	総時間
	31/38	0.04	1.44	1.48
転送レート	■■■■■■■			4.4Mbps

転送レートとは、DVDに記録されている情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

CD/ビデオCD

▷ 再生	⦿ディスク CD			
♪トラック	現在/総量	経過時間	残り時間	総時間
	1/20	0.41	2.42	3.24

▷ 再生	⦿ディスク CD			
⦿ディスク	現在/総量	経過時間	残り時間	総時間
	1/20	0.50	76.10	77.17

MP3

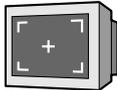
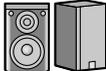
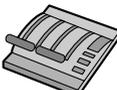
▷ 再生	⦿ディスク MP3		
♪トラック		現在/総量	経過時間
	DESTINY.MP3	2/5	0.20
フォルダ		現在/総量	
	ROOT	1/46	

⦿ Disc	
Title	destIny
Artist Name	Onkyo
Album Name	DREAM
Year	Genre
Comment	

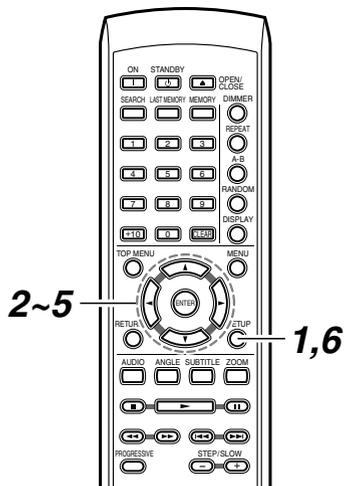
ディスクの情報を消すには

DISPLAYボタンを押します。

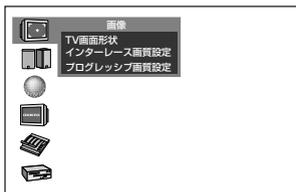
応用設定をする

基本設定より多くの設定をします。設定を変更したいときや、お好みの設定にしたいときに行います。

設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
画像	TV画面形状 インターレース画質設定 プログレッシブ画質設定	接続したテレビに合わせて映像の縦横比を選びます。 インターレース出力の画質を調整します。 プログレッシブ出力の画質を調整します。	25 68 70
オーディオ	デジタル出力/Digital 1 Dolby Digital出力 MPEG出力 デジタル出力 デジタル出力/Digital 2 Dolby Digital出力 MPEG出力 デジタル出力 Linear PCM出力 Dレンジコントロール	DIGITAL OPTICAL 1端子から出力されるデジタル信号の設定をします。 Dolby Digital音声を変換するかどうかを設定します。 MPEG音声を変換するかどうかを設定します。 デジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定します。 DIGITAL OPTICAL 2端子から出力されるデジタル信号の設定をします。 Dolby Digital音声を変換するかどうかを設定します。 MPEG音声を変換するかどうかを設定します。 デジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定します。 リニアPCM音声を変換するかどうかを設定します。 ダイナミックレンジを設定します。	26~27 72 72
言語	画面表示言語 ディスクメニュー言語 音声言語 字幕言語	画面表示に使う言語を選びます。 ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。 音声言語を選びます。 字幕言語を選びます。	73 74
表示	画面表示 画面表示色 背景 スクリーンセーバー	動作状態の画面表示を設定します。 設定画面の背景の色を設定します。 設定画面、ナビゲーターなどのグラフィックや色を変更します。 画面焼き付き防止機能の設定をします。	76
機能設定	静止画 パレンタルロック PBC 自動電源オフ	一時停止時の画像を調整します。 視聴制限機能の設定をします。 PBC付きビデオCDのメニュー再生を設定します。 再生停止後、20分間何も操作しなと自動的に電源がスタンバイ状態になる機能の設定をします。	77 78
基本設定	TV画面形状 画面表示言語 デジタル出力/Digital 1 デジタル出力/Digital 2	はじめに電源を入れたときに行う設定のグループです。	25

応用設定をする

テレビ画面を使ってDVDの応用設定をします。
テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

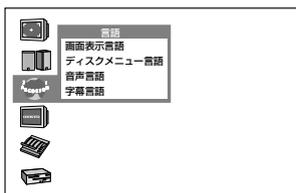
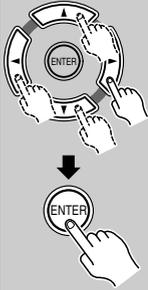
1

SETUP

SETUP(セットアップ)ボタンを押す

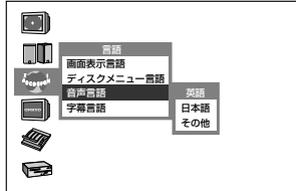
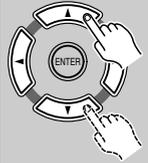
設定メニューが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して設定したい設定マークを選ぶ

画像、オーディオ、言語、表示、機能設定、基本設定から選びます。

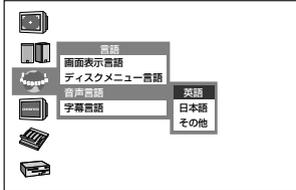
3

◀/▶ボタンを押し、▲/▼ボタンを押して設定項目を選ぶ

設定項目を選んだら、ENTER（エンター）ボタンを押します。

4

▲/▼ボタンを押して設定したい選択肢にカーソルを合わせる

5

ENTER（エンター）ボタンを押す

6

SETUP

SETUP（セットアップ）ボタンを押す

設定が終了し、応用設定画面が消えます。

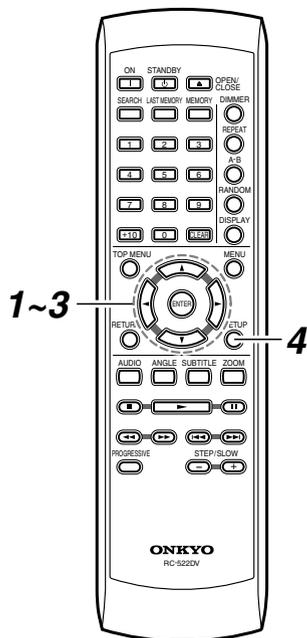
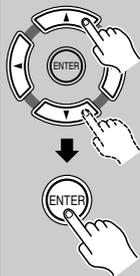
ご注意

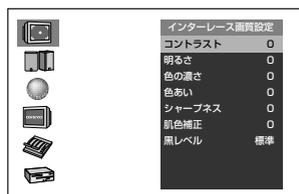
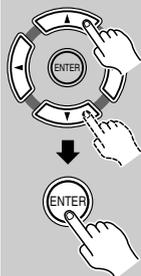
ディスク再生中には設定できない項目があります。それらの項目は、灰色の文字で表示されます。

画像設定

テレビのサイズや画質の調整など、画像に関する設定を行います。画質の調整ではインターレース出力またはプログレッシブ出力でそれぞれ3パターンの画質調整値を記憶しておくことができます。例えば、窓から日が差し込む昼用の画質、夜用のカーテンを閉め、部屋の電気の下で見る画質などお好みで調整してください。

■インターレース画質設定

映像の出力方式がインターレース出力時の画質を調整します。（☞17ページ）

1

▲/▼ボタンで「インターレース画質設定1、2、3」のいずれかを選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

画質設定メニューが表示されます。

インターレース画質設定	
コントラスト	0
明るさ	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
肌色補正	0
黒レベル	標準

2

▲/▼ボタンを押して画質調整したい項目を選び、ENTERボタンを押す

3

◀/▶ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押す

手順***2***、***3*** をくり返し、調整したい項目を設定する。

コントラスト：最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

明るさ：明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色の濃さ：色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色あい：色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

シャープネス：鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが0〜+8までの範囲で調整できます。

肌色補整：肌色を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

黒レベル：黒画像の明るさを調整します。お買い上げ時の設定は「標準」ですが、「明るい」も選べます。

！ヒント

この設定はインターレース出力のときのみ効果があります。

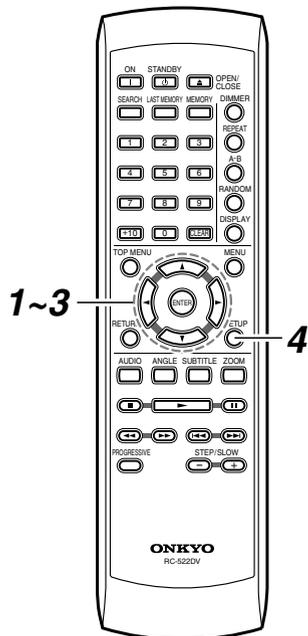
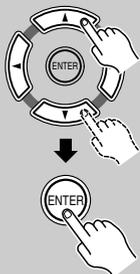
4

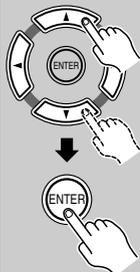
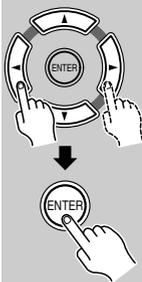
SETUPボタンを押す

設定が終了し、画質設定画面が消えます。

応用設定をする

■ プログレッシブ画質設定

映像の出力方式がプログレッシブ出力時の画質を調整します。(☞17ページ)

1

▲/▼ボタンで「プログレッシブ画質設定1、2、3」のいずれかを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます

プログレッシブ画質設定	
コントラスト	0
明るさ	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
肌色補正	0

2

▲/▼ボタンを押して画質調整したい項目を選び、ENTERボタンを押す

3

◀/▶ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押す

手順***2***、***3*** をくり返し、調整したい項目を設定する。

コントラスト：最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

明るさ：明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色の濃さ：色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色あい：色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

シャープネス：鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが0〜+8までの範囲で調整できます。

肌色補整：肌色を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

！ヒント

この設定はプログレッシブ出力のときのみ効果があります。

4

SETUPボタンを押す

設定が終了し、画質設定画面が消えます。

オーディオ設定

■ Linear（リニア） PCM出力の設定をする

ダウンサンプリングオン：
音声周波数を48/44.1kHzに変換して出力します。
96kHzに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

ダウンサンプリングオフ：
96kHz対応AVアンプと接続したときに選びます。

ご注意

- ディスクによっては、「ダウンサンプルオフ」を選択していても48/44.1kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- 著作権保護されているDVDビデオの場合、96kHzリニアPCM音声は自動的に48kHzに変換され出力されます。またはアナログ音声で出力されます。
- この設定は、「デジタル出力/Digital（デジタル） 1」、「デジタル出力/Digital 2」の両方に働きます。「デジタル出力/Digital 1」、「デジタル出力/Digital 2」の出力の設定が違っていても、同じサンプリング周波数でしか出力できません。

■ D(ダイナミック)レンジコントロールの設定をする

ダイナミックレンジコントロールを切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生することができます。例えば、映画のセリフなどが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。

オン：
ダイナミックレンジコントロールをオンにします。爆発音などの大音量を抑え、セリフなどが聞きやすくなります。

オフ：
ダイナミックレンジコントロールを解除します。

ご注意

ダイナミックレンジコントロールはドルビーデジタル音声にのみ働きます。

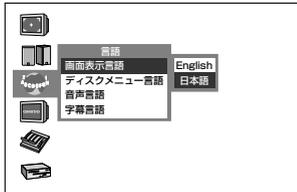
言語設定

DVDの中には、1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お好みで選べる機能を持っているものがあります。ここでは、言語に関する設定を行います。設定画面の操作方法については66ページをご覧ください。

!ヒント

- ディスクによってはディスクメニューから言語を選択できるものがあります。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていないことがあります。その場合はディスク独自の言語が選択されます。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていても設定通りに動作しないことがあります。

■ 画面表示に使う言語を選ぶ

画面表示に使う言語を選びます。

English：
英語で表示します。

日本語　：
日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）

■ ディスクメニュー言語の種類を選ぶ

ディスクメニューに複数の言語が入ったDVDを再生するときに、ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。

英　語：
英語で表示します。

日本語：
日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）

その他：
75ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

■「その他の言語」を選んだとき

1.「その他の言語」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す
言語コード入力欄が表示されます。

2. ◀/▶ボタンを押して入力欄を選ぶ

3. ▲/▼ボタンを押して言語コードを入力する
75ページの言語コード表を参照してください。

4. ENTERボタンを押す

■ 音声言語の種類を選ぶ

複数の音声言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に再生する音声言語を選びます。

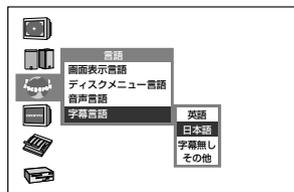
英　語：
英語で表示します。

日本語：
日本語で表示します。(お買い上げ時の設定)

その他.：
75ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

■ 字幕言語の種類を選ぶ

複数の字幕言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に表示する字幕言語を選びます。

英　語：
英語で表示します。

日本語：
日本語で表示します。(お買い上げ時の設定)

字幕無し：
字幕を表示しません。

その他：
75ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

■ 言語コード表

言語名	入力コード
日本語	JA
English	EN
French	FR
German	DE
Italian	IT
Spanish	ES
Chinese	ZH
Dutch	NL
Portuguese	PT
Swedish	SV
Russian	RU
Korean	KO
Greek	EL
Afar	AA
Abkhazian	AB
Afrikaans	AF
Amharic	AM
Arabic	AR
Assamese	AS
Aymara	AY
Azerbaijani	AZ
Bashkir	BA
Byelorussian	BE
Bulgarian	BG
Bihari	BH
Bislama	BI
Bengali	BN
Tibetan	BO
Breton	BR
Catalan	CA
Corsican	CO
Czech	CS
Welsh	CY
Danish	DA
Bhutani	DZ
Esperanto	EO
Estonian	ET
Basque	EU
Persian	FA
Finnish	FI
Fiji	FJ
Faroese	FO
Frisian	FY
Irish	GA
Scots-Gaelic	GD
Galician	GL

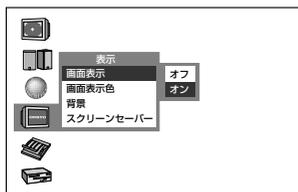
言語名	入力コード
Guarani	GN
Gujarati	GU
Hausa	HA
Hindi	HI
Croatian	HR
Hungarian	HU
Armenian	HY
Interlingua	IA
Interlingue	IE
Inupiak	IK
Indonesian	IN
Icelandic	IS
Hebrew	IW
Yiddish	JI
Javanese	JW
Georgian	KA
Kazakh	KK
Greenlandic	KL
Cambodian	KM
Kannada	KN
Kashmiri	KS
Kurdish	KU
Kirghiz	KY
Latin	LA
Lingala	LN
Laothian	LO
Lithuanian	LT
Latvian	LV
Malagasy	MG
Maori	MI
Macedonian	MK
Malayalam	ML
Mongolian	MN
Moldavian	MO
Marathi	MR
Malay	MS
Maltese	MT
Burmese	MY
Nauru	NA
Nepali	NE
Norwegian	NO
Occitan	OC
Oromo	OM
Oriya	OR
Panjabi	PA
Polish	PL

言語名	入力コード
Pashto, Pushto	PS
Quechua	QU
Rhaeto-Romance	RM
Kirundi	RN
Romanian	RO
Kinyarwanda	RW
Sanskrit	SA
Sindhi	SD
Sangho	SG
Serbo-Croatian	SH
Sinhalese	SI
Slovak	SK
Slovenian	SL
Samoan	SM
Shona	SN
Somali	SO
Albanian	SQ
Serbian	SR
Siswati	SS
Sesotho	ST
Sundanese	SU
Swahili	SW
Tamil	TA
Telugu	TE
Tajik	TG
Thai	TH
Tigrinya	TI
Turkmen	TK
Tagalog	TL
Setswana	TN
Tonga	TO
Turkish	TR
Tsonga	TS
Tatar	TT
Twi	TW
Ukrainian	UK
Urdu	UR
Uzbek	UZ
Vietnamese	VI
Volapük	VO
Wolof	WO
Xhosa	XH
Yoruba	YO
Zulu	ZU

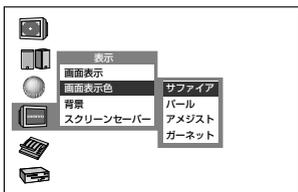
表示設定

表示に関する設定を行います。

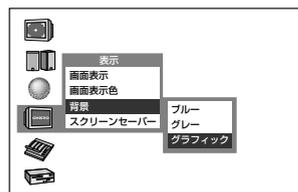
■ 動作状態の画面表示を設定する

DVD再生時の「停止」や「再生」などの動作状態の画面表示をする/しないを設定します。

オフ：
表示をしません。
オン：
表示をします。（お買い上げ時の設定）

■画面表示色を設定する

設定画面の背景の色を設定します。

サファイア：
（お買い上げ時の設定）
パール：
アメジスト：
ガーネット：

■ 背景を設定する

設定画面、ナビゲーターなどのグラフィックや色を設定します。

ブルー：
青色で表示します。
グレー：
灰色で表示します。
グラフィック：
（お買い上げ時の設定）

■スクリーンセーバーを設定する

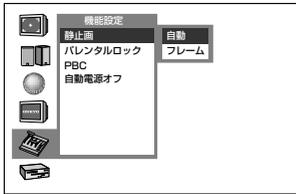
画面焼き付き防止機能の設定をします。

オフ：
スクリーンセーバー機能は働きません。
オン：
スクリーンセーバー機能が働きます（お買い上げ時の設定）

機能設定

機能に関する設定を行います。

■ 静止画を切り換える

一時停止時の画像を調整します。一般に、「フレーム」は高画質ですが、ピントがぼやけることがあります。「フィールド」はフレームと比べて高画質ではありませんが、ぼやけることはありません。

自動：
ディスクによってフィールドとフレームを自動で切り換えます。(お買い上げ時の設定)

フレーム：
通常モードです。

■ パレンタルロックを設定する

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。お子様などに不適切なシーンを視聴させないように本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。

1 **パレンタルロック「オン」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す**
暗証番号登録の画面が表示されます。

2 **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す**
レベル設定の画面が表示されます。

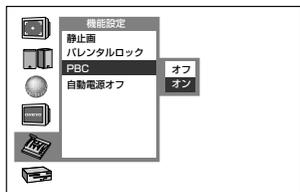
3 **▲/▼ボタンを押してレベルを選び、ENTERボタンを押す**
視聴制限のレベルが設定されます。

4 **SETUP（セットアップ）ボタンを押す**
設定が終了し、設定画面が消えます。

！ヒント

- 停止中にのみ設定の変更ができます。
- 暗証番号を間違えたときはCLEAR（クリア）ボタンを押します。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は番号を入力する手順で■（ストップ）ボタンを4回押してください。
- 視聴制限を解除したり、レベルを変更するときは、暗証番号を入れる必要があります。
- 視聴制限に対応してるかどうかは、ディスクのジャケットなどで確認してください。

■ PBCの設定をする

PBC付きビデオCDのメニュー再生を設定します。

オフ：
PBC再生を解除します。
オン：
PBC再生をします。（お買い上げ時の設定）

！ヒント

- PBC再生機能はディスクによって異なりますので詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- 本機は、ディスクによってビデオCDのPBC再生に対応していないことがあります。

■ 自動電源オフの設定をする

自動電源オフ機能とは、再生停止後何も操作せずに20分間経過すると、本機が自動的にスタンバイ状態になる機能です。

オフ：
自動電源オフ機能は働きません。
オン：
自動電源オフ機能が働きます。

DVD、CD などの予備知識

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■(ストップ)ボタンを押してください。

■ 再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
DVDビデオ		DVD-R　DVD-RW	
DVD VIDEO		DVD R　DVD RW	
ビデオCD	CD	CD-R	CD-RW
COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc ReWritable

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（☞84ページ）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

DVD、CD などの予備知識

■ DVDの再生について

DVDでは、ディスク製作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

■ 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

■ DVD-R/DVD-RWの再生について

本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード)で記録されたDVD-R/DVD-RWを再生することができます。

ご注意

- 本機はDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/DVD-RWを再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWを再生することはできません。
- 本機は再生専用機です。DVD-R/DVD-RWに録画することはできません。

※ DVDビデオフォーマット（ビデオモード)記録とDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録について、その他詳しくはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ CD-R/CD-RWの再生について

本機は音楽CDフォーマット、またはMP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。「PBCは、Playback Controlの略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

■ MP3/WMA/JPEGの再生について

- ISO9660レベル2のCD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。(ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。)
- 999フォルダ、672トラックまで認識·再生することができます。
- 画面表示時、フォルダ/トラックに3桁の番号がつきます。
- マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 本機に対応していないディスクを再生しようとすると「このフォーマットは再生できません」と表示されます。
- ディスクはファイナライズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)

■ MP3の再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3(64-384kbps)のサンプリング周波数44.1/48 k Hzで記録されたファイルに対応しています。
- 64kbpsから384kbpsの可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

■ WMAの再生について

- WMAとは「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corparationによって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」または「.ASF」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- サンプリング周波数44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 16kbpsから192kbpsの可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- ディスクにWMAを記録するとき、WMAのコンテンツ保護を解除しておいてください。

■ JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
  「.jpg」、「.JPG」または「.JPEG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
  5メガバイト以下のJPEGファイルに対応しています。
- 輝度/色差の比率が4:4:4、4:2:2、4:1:1に対応しています。
  プログレッシブJPEGには対応していません。

■ 本機で再生できないディスクの種類

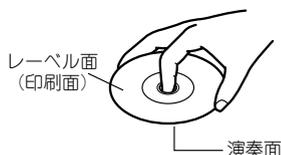
- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- スーパーオーディオCD、DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW
- フォトCD・CD-Gなど

ディスクの取り扱いについて

■ 異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

演奏面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■ 保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■ レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■ お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

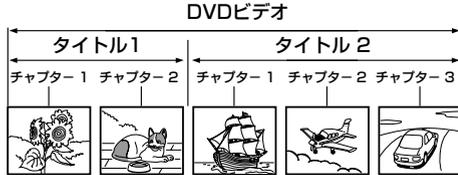
本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

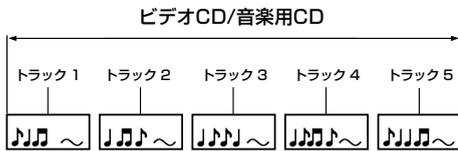
ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

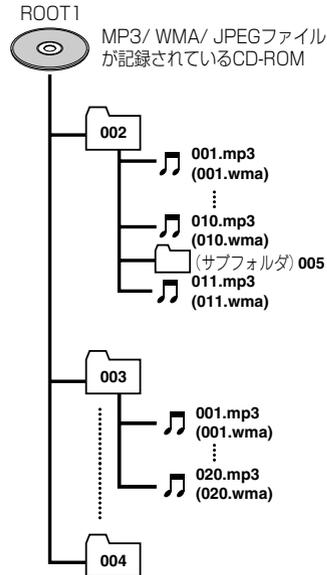
■ DVDビデオ

「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル ： DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター ： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

■ ビデオCD/音楽用CD

トラック ： ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

■ WMA/MP3/JPEGについて

WMA/MP3のフォルダ/トラックの名前や、JPEGのフォルダ/ファイルの名前が画面に表示されます。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1〜2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成しています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差のことです。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものです。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータのことです。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できます。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、１枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中に■（ストップ）ボタンを押した位置を記憶し、▶（プレイ）ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能です。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が４８ｋＨｚ、９６ｋＨｚ（ＣＤは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-Recordable（レコーダブル））
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-ReWritable（リライタブル））
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスクです。
片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVD-R(Digital Versatile Disc-Recordable)
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマットです。

DVD-RW(Digital Versatile Disc-ReWritable)
書き換え可能なDVDフォーマットです。

JPEG
ＪＰＥＧとは、ＩＴＵ-ＴＳ(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオＣＤはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されています。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はＭＰＥＧ-１と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つです。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

WMA
「Windows Mediaｷ Audio」の略で、Windows Media Player Ver.8、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- 接続コードがしっかり差し込まれいるか確認してください。**（24）**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

映像に関して

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。

静止画の画像にブレがある

- 機能設定で画像を調整してください。**（77）**

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキやビデオ内蔵テレビ経由で接続した場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。**（17）**
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。また、ディスクによっては解像度が高いため画像ノイズが出る場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して最適な状態にしてください。

映像がテレビ画面にあらわれない

- 本機を接続したテレビの入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。この場合、►ボタンを押して解除してください。もう一度押すと再生が始まります。CD再生時などで、テレビをつけていなくてもスクリーンセーバー機能は働きます。
- テレビのD1端子へ接続している場合は、「インターレース」に設定してください。**（17）**

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「基本設定」もしくは「画像設定」で設定してください。**（25）**

テレビ画面に縞のようなノイズが入る

- テレビのアンテナ線と本機の電源コードや接続コードを離してください。

ディスクの再生に関して

ディスクが再生できない

- DTS方式で記録されたディスクを再生するときは、DTS対応デコーダーとデジタル出力端子を接続してください。DTS対応デコーダーとデジタル出力端子が接続されていない状態で再生すると、本機のアナログ音声出力端子からノイズが過剰出力されます。

- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。（79）
- リージョン番号を確認してください。（79）
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除またはレベル変更を行ってください。（77）
- 本機はNTSCに対応していますので、PALのビデオCDを再生すると画像が正しく再生されません。

再生が始まるまでに時間がかかる

- DVDや曲数の多いCDの場合読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲や場面をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲や場面であることを確認してください。また、DVDなどによってはメモリーを禁止しているディスクもあります。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（83）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。（47～50、54～57、61～63）

希望する言語、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていない。

DVDやビデオCDを再生すると、ディスクの途中から再生が始まる

- リジューム機能が働いています。ディスクの最初から再生したいときは、■（ストップ）ボタンを2回押してから再生してください。
- DVDやビデオCDは、再生中に▲（オープン/クローズ）ボタンを押してトレイを開けると、その場所を本機が記憶します。次に同じディスクを再生すると、▲ボタンを押したところから再生を始めます。DVD-R/DVD-RWは同じディスクのときも、他のDVD-R/DVD-RWのときも、次に再生すると▲ボタンを押したところから再生を始めます。ディスクの最初から再生したいときは、■ボタンを2回押してから再生してください。

「ディスクによる禁止」マークがテレビ画面に出る

- 選択した動作をディスクが禁止しています。（80）

「プレーヤーによる禁止」マークがテレビ画面に出る

- 選択した動作を本機が禁止しています。（80）

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3/WMA/JPEGの再生に関して

MP3/WMA/JPEGファイルを記録したディスクを再生できない

- 記録したディスクがISO9660に準拠しているか確認してください。（81）
- ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

ディスクに記録されているトラック（ファイル）を選択できない

- 規格以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。**（81）**
- 本機では999のフォルダまたは673を超えるトラックを認識できません。**（81）**
- 本機はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。**（81）**

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。**（11）**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム機能が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。**（20）**
- CDダビング、CDシンクロ録音が働かない場合は、接続と設定をお確かめください。**（22、23）**

設定に関して

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

設定が変更できない

- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

音声がモノラル出力になっている

- ビデオCDを記録したディスクを再生時、リモコンのAUDIOボタンを押してモノラルL、モノラルRに設定した場合は、モノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、再度リモコンのAUDIOボタンを押し、ステレオに設定してください。**（39）**
  ※映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

■ DVDに関する設定を初期設定（お買い上げ時の状態）に戻すには

1. ディスクを取り出し、表示部に「No Disc（ノー ディスク）」と表示させる

2. ■（ストップ）ボタンを押しながら、STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押す

「Initialize（イニシャライズ）」と約7秒間表示されたあと、「Complete（コンプリート）」と表示されます。
DVDに関する設定が初期設定（お買い上げ時の状態 ）になります。

主な仕様

■ 総合

電源・電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
待機電力	0.5W
質量	1.8kg
最大外形寸法	155(幅)× 94(高さ)× 297(奥行き)mm
許容動作温度	5゜C～35゜C
再生可能ディスク	DVDビデオ、DVD-R/RW*(ビデオモード)、 ビデオCD、音楽CD、 CD-R/RW*、MP3、WMA、JPEG ＊ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。 フォーマットによっては、再生できない場合があります。

■ オーディオ部

周波数特性(デジタル音声)	
DVDリニア	4Hz～20kHz(48kHz) 4Hz～44kHz(96kHz)
CDオーディオ	4Hz～20kHz(44.1kHz)
SN比	106dB
ダイナミックレンジ	96dB
全高調波歪率	0.01%(1kHz)
ワウ・フラッタ	測定値以下[±0.001%(W. PEAK)、EIAJ]
出力電圧/インピーダンス	−22.5dBm(光デジタル出力) 2.0 V(rms)、660Ω(アナログ出力)

■ ビデオ部

映像出力/インピーダンス	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック
S映像出力/インピーダンス	(Y)1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン (C)0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω (PB/CB)、(PR/CR)0.7V(p-p)、75Ω、D端子
コンポーネント映像周波数特性	2Hz～13.5MHz

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　DV-S155X
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年　月　日
ご購入店名：
Tel.　(　)
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.com/jp/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル☎0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または☎072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
G0401-1

SN 29343572